

未来を拓く人づくり



日立市

日立市教育委員会

〒317-8601 日立市助川町1丁目1番1号
TEL : 0294-22-3111 FAX : 0294-21-0465
E-mail : gakushu@city.hitachi.lg.jp

日立市生涯学習振興計画 2024 - 2028

自分らしく
生涯
輝く

日立市
生涯学習
振興計画

2024 - 2028



日立市教育委員会

目 次

第1章 計画の策定に当たって	1
1 策定の趣旨	2
2 計画の位置付け	2
(1) 法的な位置付け	2
(2) 上位計画との関係	2
3 計画の期間及び進行管理	4
第2章 生涯学習を取り巻く現状とこれまでの取組状況	5
1 生涯学習の定義	6
2 生涯学習を取り巻く社会情勢	6
(1) 世帯構成・ライフスタイルの変化	6
(2) 誰一人取り残さない（社会的包摂）	6
(3) 人生100年時代における学習の重要性	7
(4) 生涯学習につながる学校教育、学校と地域の連携	7
(5) 地域コミュニティの活動と生涯学習の連携	7
(6) デジタル技術を活用した学習の重要性	8
3 国における教育政策の動向	8
4 本市における取組の状況	8
(1) 未来を拓くプロジェクトの推進	8
(2) 「ひたちらしさ」をいかした取組の推進	10
第3章 計画の基本的な考え方	13
1 計画の基本理念	14
2 計画の特徴	15
【視点1】 ライフステージ	16
【視点2】 誰一人取り残さない（SDGsの方向性との合致）	16
【視点3】 デジタル化	17
【視点4】 リカレント教育	17

第4章 今後5年間で取り組む施策	19
1 施策の体系	20
(1) 推進テーマ	20
(2) 施策の柱	20
2 施策の体系図	22
3 施策の展開	24
施策の柱Ⅰ きっかけを見つける	26
施策の柱Ⅱ 人生100年時代を豊かに生きる	36
施策の柱Ⅲ 支え合い共に生きる社会を創る	62
第5章 参考資料	77
1 計画の策定経過	78
2 策定委員会	80
(1) 日立市生涯学習振興計画策定委員会 委員名簿	80
(2) 日立市生涯学習振興計画策定委員会 設置要項	81
3 目標指標一覧	83
4 主な取組一覧	84
5 意見聴取の結果	88
6 用語解説	89

本文中の※印の付いている用語は、巻末（P88～91）に解説があります。

第 1 章

計画の策定に当たって

1 策定の趣旨

これまで、本市では「日立市教育振興基本計画」（計画期間：2019（令和元）年度～2023（令和5）年度）を基に、様々な教育施策を展開してきました。

日立市教育振興基本計画の期間が終了するに当たり、急速な情報化や技術革新、グローバル化など社会経済情勢の変化を始め、「学校教育」、「生涯学習」、「スポーツ」の分野ごとに課題やニーズが広範化かつ多様化していることを踏まえ、効果的な施策形成を図るため、1つの計画にまとめていた3分野をそれぞれ個別の計画として策定することとしました。

2 計画の位置付け

（1） 法的な位置付け

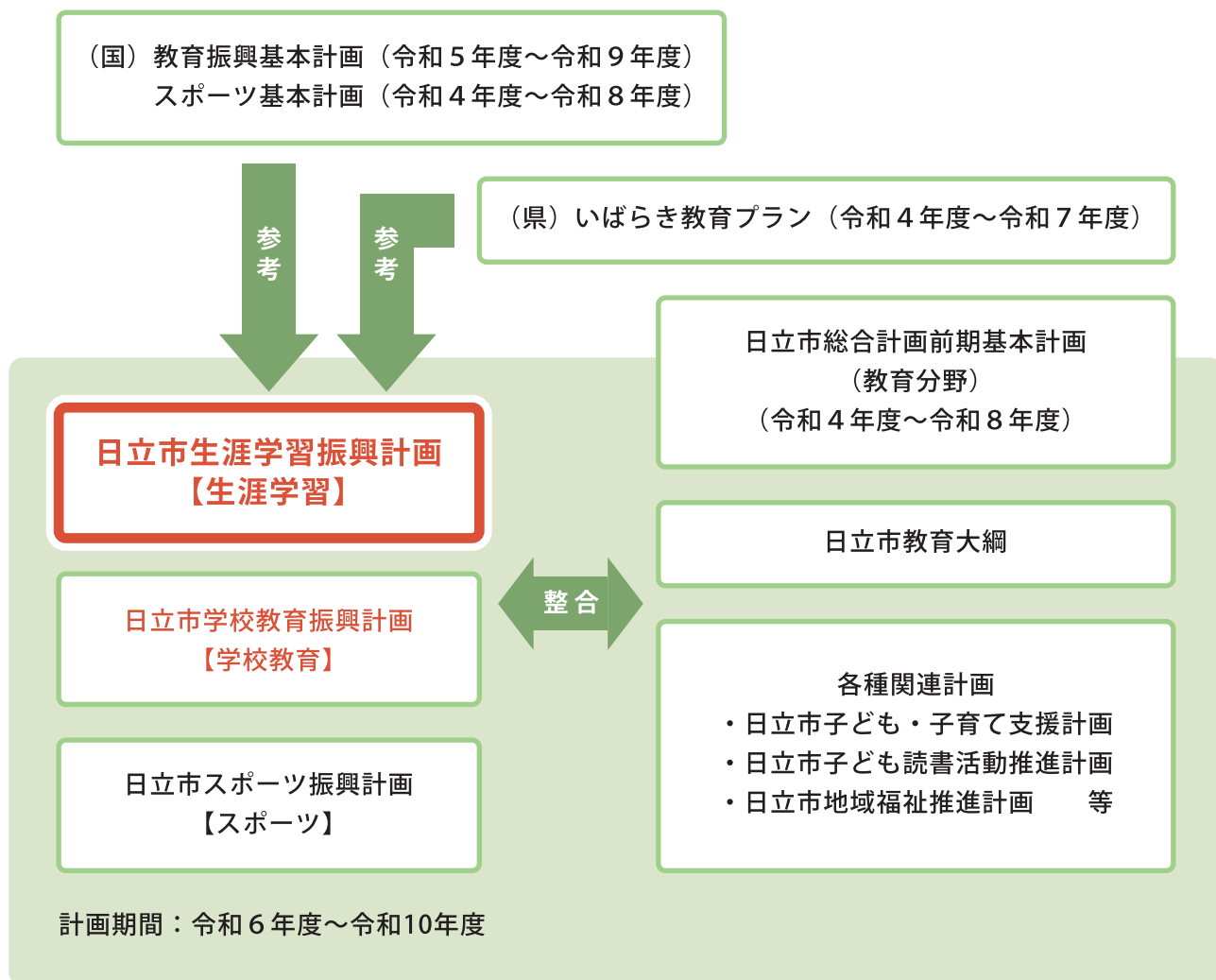
本計画は、教育基本法第17条第2項の規定に基づく「地方公共団体における教育の振興のための基本的な計画」として策定します。

（2） 上位計画との関係

ア 本計画は、国の「第4期教育振興基本計画」（計画期間：2023（令和5）年度～2027（令和9）年度）、県の「いばらき教育プラン」（計画期間：2022（令和4）年度～2025（令和7）年度）及び本市の各種関連計画と調和の取れた計画として策定します。

イ また、本市の教育が目指す基本的な考え方を示した「日立市教育大綱」や上位計画である「日立市総合計画前期基本計画」（計画期間：2022（令和4）年度～2026（令和8）年度）に示す生涯学習に関する施策をより具体的に推進する計画として策定します。

ウ なお、「福祉」や「子育て」、「環境」などの様々な分野における、意識啓発事業や市民参画事業などの学習活動に関する各種施策も策定範囲とし、生涯学習の視点から、体系化を行います。



3 計画の期間及び進行管理

本計画の期間は、2024（令和6）年度から2028（令和10）年度までの5年間とします。

また、本計画に掲げる施策や取組を着実に実行するため、成果を検証・分析し、その結果に応じて事業内容を見直します。そのため、施策ごとに成果を見極める目標指標を設定し、PDCAサイクルの手法を取り入れた進行管理を実施します。

施策の進行管理については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づいて実施する「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」を活用しながら、より効果的な施策を推進していきます。

PDCAサイクル図



第 2 章

生涯学習を取り巻く現状と
これまでの取組状況

1 生涯学習の定義

教育基本法では、生涯学習の理念について「国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない。」としています。

「生涯学習」という言葉は、余暇・レクリエーション活動や趣味・教養に関わる活動と捉えられがちですが、実際にはこれらの活動だけではなく、生涯にわたるあらゆる学習活動を含む広範な概念です。

そこで本計画では、「生涯学習」の定義を、個人の自発的な学習はもちろんのこと、学校教育、社会教育、家庭教育のほか、スポーツ・レクリエーション活動、文化芸術活動、ボランティア活動、職業上必要な技能の習得など、学習を伴う幅広い活動として捉え、市民一人一人が生涯にわたり、あらゆる機会に、あらゆる場所において主体的に行う、あらゆる学習の活動の総称とします。

2 生涯学習を取り巻く社会情勢

(1) 世帯構成・ライフスタイルの変化

人口減少、少子高齢化、核家族化、未婚化・晩婚化を背景に、社会環境の劇的な変化が進み、地域社会を支える地縁など、対面での人と人との関係性や「つながり」は希薄化しています。さらに、インターネットの普及等に伴う情報通信社会の急速な進展等により、生活環境やライフスタイルは急速に変化してきています。

また、インターネットやソーシャルネットワーキングサービス（SNS）の利用拡大により、個人での情報の受発信が活発になっており、様々な情報が容易に入手可能になる一方で、情報に一人一人が当事者として対応せざるを得ない状況も生じています。こうした環境の変化を踏まえ、日常生活を送る上で必要な基本的知識やスキルとして、情報活用能力の育成や、メールやインターネットを安全に活用する際の正しい知識と対策やスキルを身に付けることが重要です。

(2) 誰一人取り残さない（社会的包摂）

2015（平成15）年9月の国連サミットにおいて採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ（計画）」には、持続可能な開発目標（SDGs^{*}）として17のゴール、169のターゲットから構成される国際目標が掲げられています。

その目標4では、「すべての人々への包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する」ことが挙げられています。

また、このアジェンダの前文においては、「すべての人々の人権を実現し、ジェンダー平等*とすべての女性と女兒の能力強化を達成することを目指す」ことが記載されています。

生涯学習を基盤として、持続可能で安心・安全に暮らせる社会を実現していくためには、貧困の状況にあり、孤立しがちな子ども、外国人、障害のある方やその家族など、困難な立場に置かれている人々の社会的包摂の実現を推進することが必要です。

(3) 人生100年時代における学習の重要性

変化の著しい現代社会に対応するため、社会人の学び直しを始めとする生涯学習の必要性が増大しています。人生100年時代には、高齢者から若者まで、全ての人に活躍の場があり、元気に活躍し続けられる社会、安心して暮らすことのできる社会を創る必要があります。特に、社会的な課題の解決に向けて生活基盤を確かなものとする上で「学校教育以外の学び」の重要性が再認識されています。

(4) 生涯学習につながる学校教育、地域と学校の連携

学習指導要領では、子どもたちが、変化の激しい時代の中でも、学習内容を人生や社会の在り方と結び付けて深く理解し、未来を切り拓くために必要な資質・能力を身に付け、生涯にわたって能動的に学び続けることができるよう、「どのように学ぶか」という学びの質を重視しています。

これからの時代に求められる教育を実現していくためには、学校教育を通じてより良い社会を創るという理念を学校と社会とが共有し、それぞれの学校において、必要な学習内容をどのように学び、どのような資質・能力を身に付けられるようにするのかを明確にしながら、社会との連携及び協働によりその実現を図っていくことが重要です。

(5) 地域コミュニティの活動と生涯学習の連携

教育分野以外にも目を向ければ、人々の生活基盤である「地域コミュニティ」が実践する福祉や防災等の活動と生涯学習の連携を深めることが重要です。

こうした生涯学習との連携・協働が求められている現況下では、地域住民による学びの成果を地域課題の解決やまちづくり等につなげていくことができる人材を育成することが求められています。

(6) デジタル技術を活用した学習の重要性

学習活動に関するデジタル化・オンライン化の取組は、新型コロナウイルス感染症対策の一環として進んできましたが、こうした取組の進展により、場所や時間に制限なく学びやすい環境が提供できるようになっています。

生涯学習において、対面・集合形式の学習活動を補うものとして、最新のデジタル技術を活用することは、生涯学習の機会と裾野を広げ、今後の生涯学習の姿に大きな変化をもたらす可能性があります。

今後の生涯学習においては、最新のデジタル技術を活用促進することにより、対面・集合形式の学習活動を補い、新たな学習機会の提供など、学習環境に大きな変化をもたらす可能性があります。

3 国における教育政策の動向

2023（令和5）年度から2027（令和9）年度までを計画期間とする「第4期教育振興基本計画」が策定されました。

コンセプトとして「持続可能な社会の創り手の育成」及び「日本社会に根差したウェルビーイング※の向上」を掲げ、5つの基本の方針が示されています。

- ① グローバル化する社会の持続的な発展に向けて学び続ける人材の育成
- ② 誰一人取り残されず、全ての人の可能性を引き出す共生社会の実現に向けた教育の推進
- ③ 地域や家庭で共に学び支え合う社会の実現に向けた教育の推進
- ④ 教育デジタルトランスフォーメーション（DX）*の推進
- ⑤ 計画の実効性確保のための基盤整備・対話

4 本市における取組の状況

(1) 未来を拓くプロジェクトの推進

本市では、これまでの計画期間（2019（令和元）年度～2023（令和5）年度）において、基本理念である「未来を拓く人づくり」の実現に向けて、重点的に推進する主な取組を「未来を拓くプロジェクト」として位置付け、展開してきました。

ア 教育環境の向上

これからの時代を生きる子どもたちの学びを支えるため、地域学校協働活動*を実施し、地域、学校及び家庭との連携により子どもたちを育む取組を推進しています。

イ 放課後や休日の活動環境の充実

核家族化や共働き世帯の増加などにより、一人で過ごすことの多い子どもが増えていることから、放課後や休日を有意義に活動できる安全・安心な居場所や地域の大人と触れ合える環境を整備しています。

全ての子どもたちが安全・安心に過ごせる環境の整備を図るため、利用ニーズに応えた、放課後児童クラブ*や放課後子ども教室*を開設・運営をしています。

目標指標としていた「放課後子ども教室の開設数」は、計画どおり増加することができています。

さらに、参加する子どもたちが放課後をより豊かに過ごすことができるよう、体験活動等の充実に努めています。

ウ 文化財の活用

日立風流物（ユネスコ無形文化遺産*）や長者山遺跡*（国指定史跡）などの本市固有の文化財を活用し、市民の郷土への理解や関心を高めるとともに、文化財の魅力を広く発信しながら、まちのにぎわいづくりと交流人口の拡大を図っています。

具体的には、文化財の保存と活用の推進として、「日立市文化財保存活用地域計画*」の推進、日立風流物展示施設等の整備検討、長者山遺跡のガイドツアーを実施したほか、郷土博物館の魅力づくりとして、企画・特別展示、歴史、民俗、地学等の講座・講演会等の開催、ふるさと文化少年団の活動支援に取り組んでいます。

日立風流物（ひたちふうりゅうもの）

日立風流物は、日立市の伝統芸能であり、1959（昭和34）年に、山車として国内で初めて国の重要有形民俗文化財、1977（昭和52）年には国の重要無形民俗文化財、2009（平成21）年にはユネスコ無形文化遺産に指定されました。7年に1度の「神峰神社大祭礼」や毎年4月開催の「日立さくらまつり」で披露される、重さ5t、高さ15 mにもおよぶ豪壮な山車や五層のからくり舞台で演じられる操り人形芝居は必見です。



日立風流物

(2) 「ひたちらしさ」をいかした取組の推進

本市では、海・山の豊かな自然環境や優れた地域資源、特色ある教育施設、そして、先人たちが築いてきた独自の文化やコミュニティによるまちづくりなどの「ひたちらしさ」をいかした取組を推進しています。

本市の生涯学習では、「ひたちらしさ」をいかしつつ、市民が生きがいや喜びを見出せるよう様々な学習機会の提供と自主的な学習活動を支援するとともに、地域や学校でその成果をいかすことができる機会を創出することで、持続的な地域力の向上に取り組んでいます。

ア 未来の夢を体験する ～職業探検少年団の運営支援～

小中学生の勤労観や職業観を育むため、地域、産業界、行政等が一体となって進めている「日立市職業探検少年団」の運営の支援に取り組んでいます。全国でも珍しい本取組を通し、キャリア教育を推進しています。



ひたち林業探検少年団



ひたち水産業探検少年団

イ “ひたち発”ラジオ体操 ～ラジオ体操の普及～

本市出身の遠山喜一郎*氏が考案したラジオ体操を「郷土の宝」として、市民への普及に取り組み、市民の生活習慣の改善及び健康増進を図るとともに、世代間交流の機会を増やし、地域社会の活性化を目指しています。



“郷土の宝”ラジオ体操

ウ 学ぶ意欲に応える ～ひたち生き生き百年塾の活動支援～

市民への生涯学習機会の提供として、市民が自主的に参加して、ひとづくり・まちづくりを実践している「ひたち生き生き百年塾」の活動支援及びコミュニティ等との連携強化に努めています。



ひたち生き生き百年塾

エ 身近な場所で読書サービス ～読書活動の推進～

市内に4つの市立図書館を設置し、さらに、茨城県内で導入が少ない移動図書館車による図書の巡回貸出サービスを行い、市民の読書活動を推進しています。

また、ブックスタート事業や電子書籍貸出サービス事業等の実施により、子どもの読書活動の推進及び図書館サービスの向上を目指しています。



移動図書館「たかすず」号

第 3 章

計画の基本的な考え方

未来を拓く人づくり

情報技術の急速な進展や人口減少などにより、将来の予測が困難な時代の中で、人生100年時代をより豊かに生きるため、生涯にわたって学習し、自己の能力を高め、地域社会や生活上の課題解決のための活動をする人材の育成が求められています。

本市の生涯学習では、市民が、夢や希望を持ち、豊かな人生を送れるよう、家庭・学校・地域等において、生涯にわたり、自ら学習活動やスポーツ・文化活動に取り組み、多様な個性や能力を育む環境を整備します。

また、共に学び、共に支え合い、共に地域を創る環境を整備します。

2023（令和5）年6月に閣議決定された第4期教育振興基本計画では、人生100年時代を見据え、そして、全ての人のウェルビーイング※の実現のため、生涯学び、活動できる環境の整備と、多様な世代への情報提供や学習成果の可視化、仲間とつながりながら学ぶことができる環境の整備を図ることを目標としています。

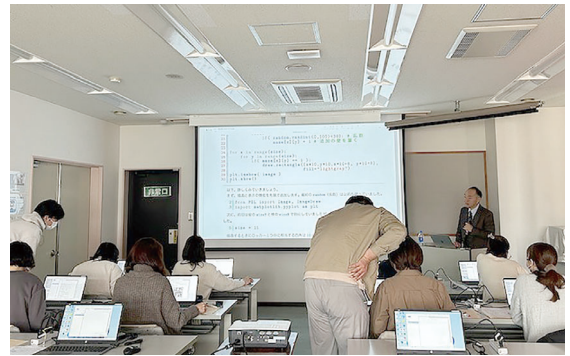
国の示す方向性や社会情勢等を踏まえ、本計画では、市民が自分自身に向き合い、最適な学びをデザインしていくことで、地域の中で学びの輪が広がり、より良い地域の共創につながっていくことを目指し、4つの視点で学びの環境づくりを推進します。

また、本市の生涯学習は、これまで、豊かな自然環境と独自の文化、コミュニティによるまちづくりなどの「ひたちらしさ」をいかし、多様な取組を推進してきました。

本計画においても、引き続き「ひたちらしさ」を全ての取組にいかしつつ、生涯学習の推進に取り組みます。

視点1 ライフステージ

社会情勢の変化やライフスタイルが多様化する中、誰もが生涯にわたって必要な知識・技能を身に付け、他者と協働しながら、その成果を生活や地域での活動等にいかせるよう、人生の場面に応じた学習機会を提供し、全ての市民が自己実現を図り、豊かな人生を送るための学びの環境づくりを推進します。



なお、本計画では、乳幼児・青少年期・成人期・高齢期の4つに分け、その段階に応じた学習機会の充実を図ります。

視点2 誰一人取り残さない（SDGs※の方向性との合致）

人権への配慮を始め、多様な他者を尊重することを含めた自他の適切な関係性の下、それぞれの自己の生き方の充実向上を共に図る共生社会において、社会参画に制限のある高齢者、障害者、女性、外国人、貧困の状況にある子ども、孤独・孤立の状況にある者などを含め、誰一人取り残さない社会の実現に向け、関係機関との連携やICTの活用により、平等に学習機会を得られる環境づくりを推進します。



視点3 デジタル化

デジタル化が進展する社会において、デジタルの活用とリアル活動を組み合わせた効果的な学びが展開されるよう、社会教育施設におけるデジタル技術の効果的な活用、デジタル基盤の強化を促進するとともに、誰一人取り残さないデジタル社会の実現を図るため、情報格差の解消など、全ての世代のデジタルリテラシー*の向上への環境づくりを推進します。



視点4 リカレント教育*

100年という長い人生を豊かにするため、社会人に限らず、若者や高齢者にも、生涯にわたり、学びたいときに、いつでも学ぶことができ、学んだ成果を仕事や地域活動にいかすことができる環境づくりを推進します。



第 4 章

今後 5 年間で取り組む施策

(1) 推進テーマ

自分らしく 生涯 輝く

市民一人一人が、生涯を通じ笑顔で（＝笑涯）生き生きと学び続けて、豊かで生きがいのある暮らしを送るとともに、学びを地域社会に還元しつつ自分らしく活躍でき、さらに、本市の歴史や文化（ひたちらしさ）をいかして豊かに暮らせる「いつでも どこでも だれでも まなびあう」まちづくりを目指します。

(2) 施策の柱

I きっかけを見つける

市民の学びに関する興味や関心が高まるよう、意識啓発に努めるとともに、学習活動の実践へとつながるよう、様々な機会や手法を活用して生涯学習の魅力や活動情報を発信し、学習のきっかけにつなげていきます。

市民誰もが、主体的に参画でき、人権が尊重される社会の形成に向け、「誰一人取り残さない」生涯学習を目指します。

I C Tについては、情報を得る手段から生活に欠かせないものに大きく転換しつつあり、あらゆる学びの可能性を拡げる手段であるため、I C Tを活用した学習支援、ネットリテラシー*の醸成などに取り組みます。

II 人生100年時代を豊かに生きる

人生100年時代を生き抜くため、誰もが学ぶことによって自らの力を発揮できるよう、生涯を通じて学び続ける力や情報を発信し、誰もが、いつでも、どこでも、学びたいことを学べるよう、学習機会の充実を図ります。

ライフステージや社会情勢の変化に対応した学習の機会を設け、これらの多様な学びを通じ、これからの変化の著しい現代における人づくりを推進します。

次代を担う子どもたちの「学びに向かう力」を育み、心豊かに未来を切り拓いていけるよう、学びを支援します。

III 支え合い共に生きる社会を創る

広く市民を対象に、地域課題の解決や持続的発展に関する学習の機会を設け、世代を超えて互いに交流しながら地域に暮らし、それぞれ、生きがいを持ち高め合う「地域共生社会*」を推進します。

生涯学習を支える人材の育成を重点的に行うとともに、地域学校協働活動*を通じて、地域と学校の連携・協働の一層の推進を図ります。



荒馬踊り



ひたち農業探検少年団野菜の収穫



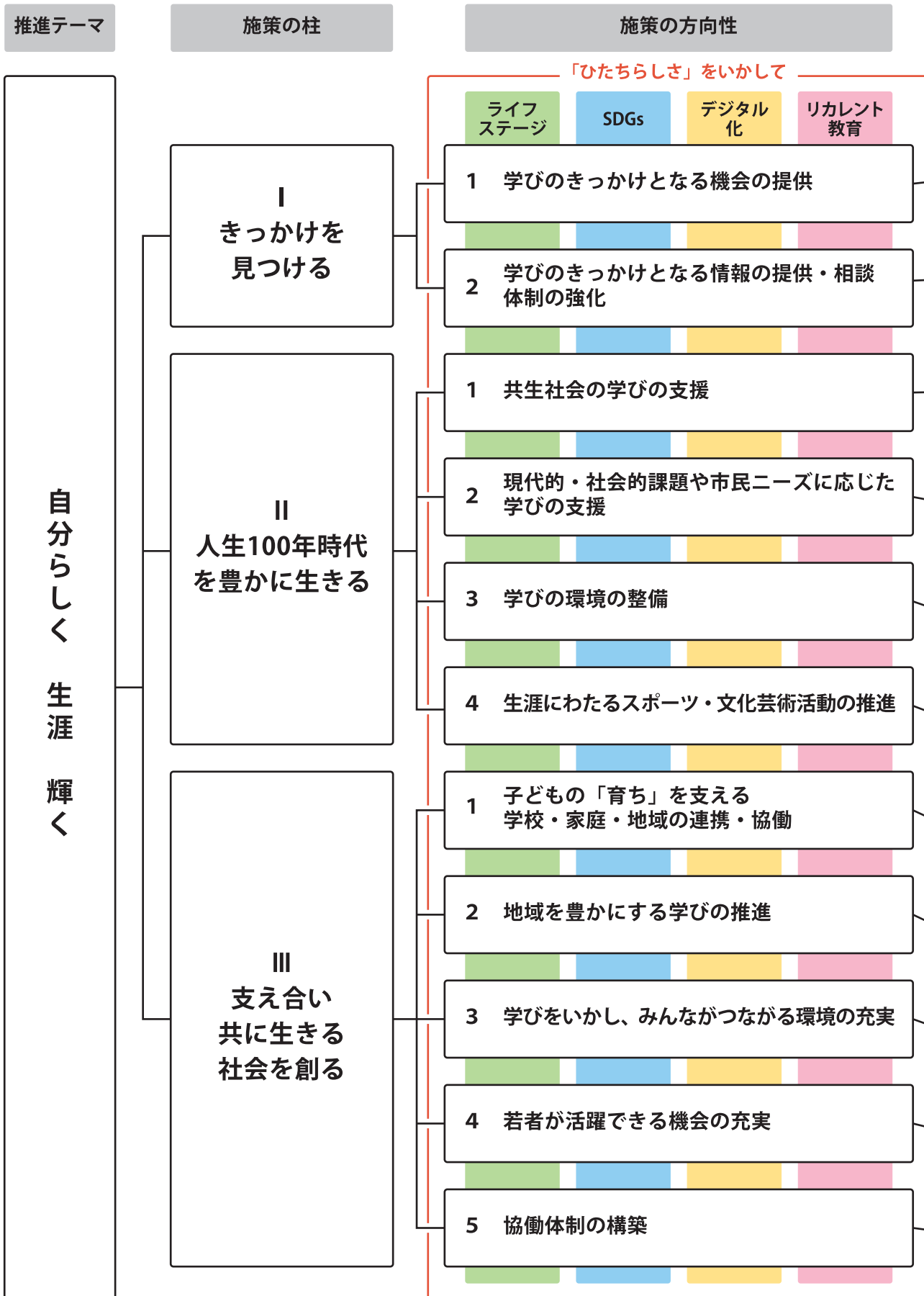
外国人高校生との交流



市民オペラ

2

施策の体系図



主な取組

1 職業探検少年団の運営支援 2 ひたち大好き博士の育成 3 日立市子ども会育成連合会の運営支援
4 ひたち市民カレッジにおける講座の充実 5 中学生の職場体験活動の推進 6 映像文化の振興
7 ボランティア情報相談コーナーの運営 8 女性の就業支援 9 離乳食教室の実施
10 さくら教室の実施 11 かみね動物園における教育普及活動

12 男女共同参画の推進 13 気象情報活用の充実 14 マタニティスクールの実施
15 子育て支援アプリの提供

16 放課後児童対策の推進 17 大学・専門学校等への修学支援 18 多文化共生の推進
19 生活困窮世帯の子どもに対する学習支援 20 認知症サポーターの養成
21 高齢者のデジタル端末活用支援 22 高齢者の資格取得支援
23 障害者理解の啓発と社会参加の促進 24 子ども家庭支援の推進 25 乳幼児一時預かりの実施

26 豊かな体験活動の実施 27 郷土教育の推進 28 エネルギー教育の充実
29 総合的な学習の時間の実践支援 30 いのちの教育の実施 31 大学との連携の推進
32 市政出前講座の実施 33 交通安全の指導・啓発 34 ライフステージに応じた消費者教育の推進
35 環境意識の醸成・向上 36 シルバーリハビリ体操の普及啓発 37 健康運動教室の実施
38 未成年者の喫煙対策 39 食生活改善の推進 40 高校生に対する思春期教育の実施
41 応急救護知識の普及啓発

42 電子書籍貸出サービス活用による読書活動の推進 43 移動図書館車の運行
44 図書館サービスの充実 45 博物館の魅力づくり 46 文化財の活用推進
47 交流センターにおけるフリースペース等の整備 48 コミュニティ活動におけるデジタル化の推進

49 プレゴールデンエイジの育成 50 参加型のスポーツ・レクリエーション事業の推進
51 スポーツ少年団の運営支援 52 総合型地域スポーツクラブの育成
53 部活動の段階的な地域移行 54 文化・芸術を通じた交流・にぎわいづくり

55 地域学校協働活動の推進 56 家庭教育の推進 57 学校運営協議会制度の推進
58 乳幼児から本に親しむ機会の提供 59 子ども読書活動の推進 60 地域わんぱく隊の活動支援
61 プレパパママの子育てスクールの実施 62 「0歳児の広場」の実施
63 子どもすくすくセンターの運営 64 地域の子ども・子育て支援の充実

65 ラジオ体操の普及 66 働き世代の休日講座の実施 67 外国人児童生徒に対する学校生活支援

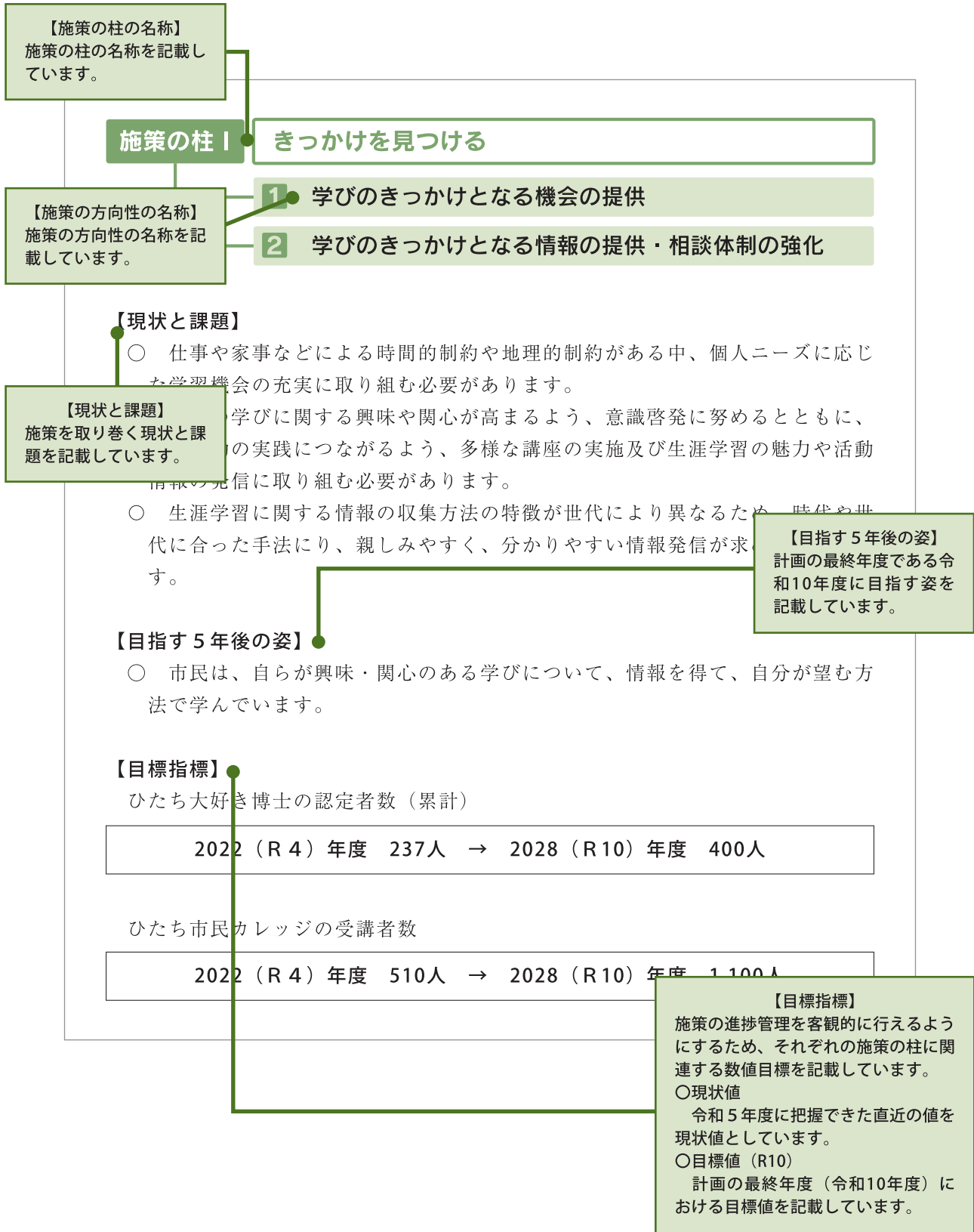
68 ひたち生き生き百年塾の活動支援

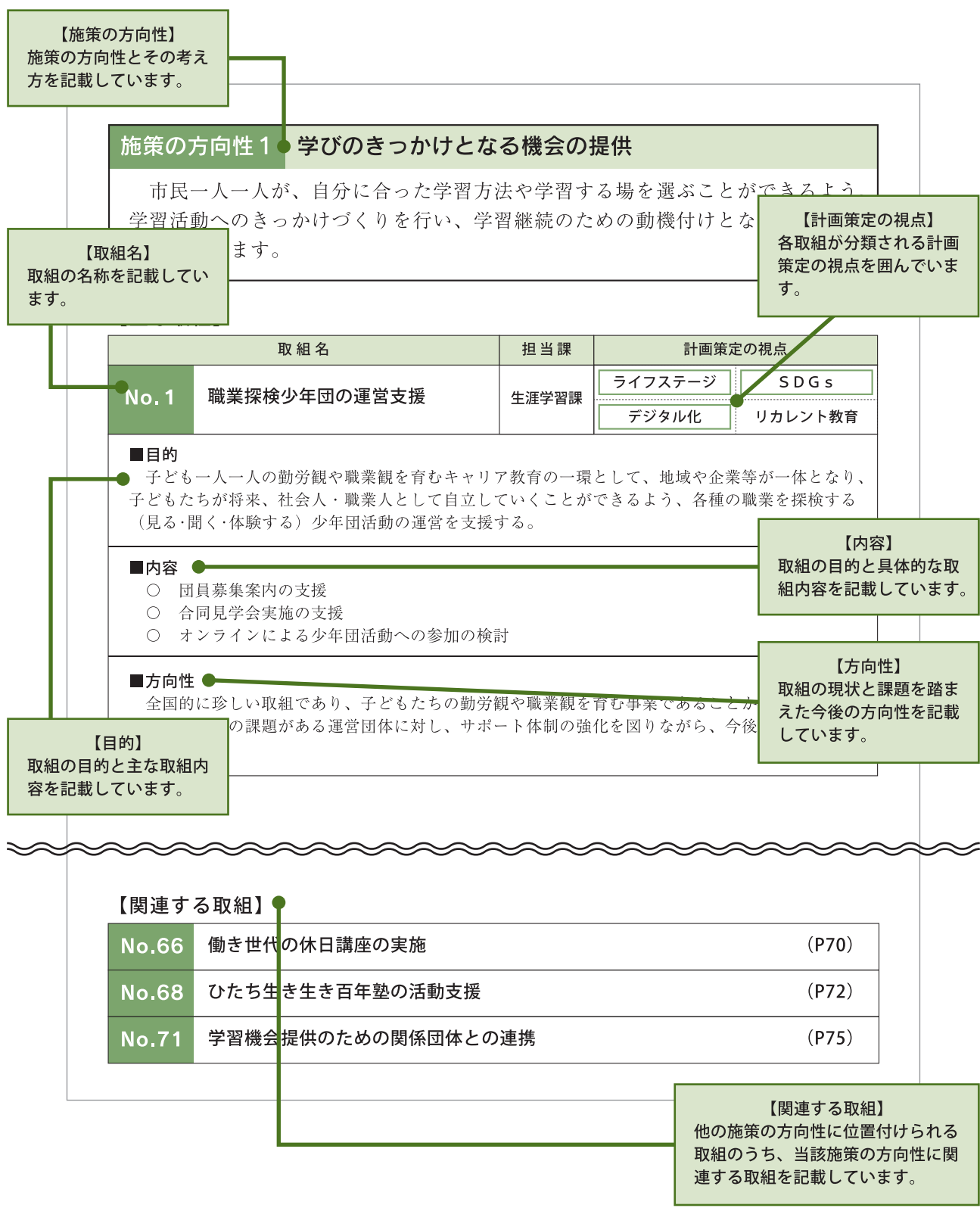
69 地元大学との連携による教育ボランティアの活用 70 若者のチャレンジ応援

71 学習機会提供のための関係団体との連携 72 科学学習の推進

【各施策の構成と見方】

3つの柱ごとに次のような構成になっています。





施策の柱 I

きっかけを見つける

1 学びのきっかけとなる機会の提供

2 学びのきっかけとなる情報の提供・相談体制の強化

【現状と課題】

- 仕事や家事などによる時間的制約や地理的制約がある中、個人ニーズに応じた学習機会の充実に取り組む必要があります。
- 市民の学びに関する興味や関心が高まるよう、意識啓発に努めるとともに、学習活動の実践につながるよう、多様な講座の実施及び生涯学習の魅力や活動情報の発信に取り組む必要があります。
- 生涯学習に関する情報の収集方法の特徴が世代により異なるため、時代や世代に合った手法にり、親しみやすく、分かりやすい情報発信が求められています。

【目指す5年後の姿】

- 市民は、自らが興味・関心のある学びについて、情報を得て、自分が望む方法で学んでいます。

【目標指標】

ひたち大好き博士の認定者数（累計）

2022（R4）年度 237人 → 2028（R10）年度 400人

ひたち市民カレッジの受講者数

2022（R4）年度 510人 → 2028（R10）年度 1,100人

施策の方向性 1 学びのきっかけとなる機会の提供

市民一人一人が、自分に合った学習方法や学習する場を選ぶことができるよう、学習活動へのきっかけづくりを行い、学習継続のための動機付けとなるような取組を推進します。

【主な取組】

取組名		担当課	計画策定の視点	
No. 1	職業探検少年団の運営支援	生涯学習課	ライフステージ	SDGs
			デジタル化	リカレント教育
<p>■目的 子ども一人一人の勤労観や職業観を育むキャリア教育の一環として、地域や企業等が一体となり、子どもたちが将来、社会人・職業人として自立していくことができるよう、各種の職業を探検する（見る・聞く・体験する）少年団活動の運営を支援する。</p>				
<p>■内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 団員募集案内の支援 ○ 合同見学会実施の支援 ○ オンラインによる少年団活動への参加の検討 				
<p>■方向性 全国的に珍しい取組であり、子どもたちの勤労観や職業観を育む事業であることから、人材不足や高齢化などの課題がある運営団体に対し、サポート体制の強化を図りながら、今後も支援していく。</p>				

取組名		担当課	計画策定の視点	
No. 2	ひたち大好き博士の育成	生涯学習課	ライフステージ	SDGs
			デジタル化	リカレント教育
<p>■目的 子どもたちが地域の行事や市内のイベントへの参加、市内公共施設等での見学や体験などを通じて、自分が住むまちへの理解を深めることにより、郷土愛を育むとともに、「ふるさと日立」を誇りに思えるような子どもたちの育成を図る。</p>				
<p>■内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ひたち大好きパスポートの作成・配布 ○ ひたち大好き博士の周知及び認定 ○ 「ひたち大好きパスポート デジタル版」の運用管理 				
<p>■方向性 子どもたちが、自分の住んでいる地域の歴史や自然に関心を持つ機会と地域行事に参加する機会が少なくなっていることから、ふるさとへの理解を深めるきっかけづくりとして、継続して取り組んでいく。</p>				

取組名		担当課	計画策定の視点	
No.3	日立市子ども会育成連合会の運営支援	生涯学習課	ライフステージ	SDGs
			デジタル化	リカレント教育
<p>■目的 各小学校区子ども会育成連合会を統括する日立市子ども会育成連合会の運営を支援し、子ども会育成者等の資質向上に努め、子ども会活動の活性化を図り、子どもたちの健やかな成長に寄与する。</p>				
<p>■内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 日立市子ども会育成連合会の運営支援 ○ 写生会や国内親善都市との交流会、子どもまつりなどのイベント開催支援 				
<p>■方向性 日立市子ども会育成連合会と各小学校区子ども会育成連合会との連携を密にし、子どもたちの異年齢活動の場である、地域を基盤とした子ども会活動が継続的に行われるよう支援していく。</p>				

取組名		担当課	計画策定の視点	
No.4	ひたち市民カレッジにおける講座の充実	生涯学習課	ライフステージ	SDGs
			デジタル化	リカレント教育
<p>■目的 豊かな人生を送れるよう、楽しみながら学び、生涯学習の体験を通じて、地域やまちづくりに役立つ人材の育成を図る。</p>				
<p>■内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ひたち生き生き百年塾推進本部が主催し、茨城キリスト教大学との共催により講座を実施 ○ ひたち市民カレッジに多くの方が受講できる講座の充実 				
<p>■方向性 受講者が年々減少しており、市民カレッジの運営方法を見直す時期にきている。講座を休日に実施することや、講座によっては単独受講ができるようにするなど、他の自治体の事例を参考しながら、より多くの方が受講できる環境づくりを検討し、講座の充実を図る。</p>				

取組名		担当課	計画策定の視点	
No.5	中学生の職場体験活動の推進	指導課	ライフステージ	SDGs
			デジタル化	リカレント教育
<p>■目的 中学2年生を対象に、仕事を実体験できる協力事業所での職場体験活動を3日間実施し、望ましい職業観を始め、他者との関わりや思いやり、社会のルール等を学び、主体的、創造的に生きていくことができる資質や能力の育成を図る。</p>				
<p>■内容 ○ 市内事業所等での職場体験の実施</p>				
<p>■方向性 中学生が望ましい職業観を始め、他者との関わりや思いやり、社会のルール等を学び、主体的、創造的に生きていくことができる資質や能力を育成するため、継続して取り組んでいく。</p>				

取組名		担当課	計画策定の視点	
No.6	映像文化の振興	記念図書館 (視聴覚センター)	ライフステージ	SDGs
			デジタル化	リカレント教育
<p>■目的 子どもたちの健全育成及び地域活動・文化活動の振興を図るため、地域の実情に応じた地域と学校との協働による映画会等を実施するとともに、施設内上映の充実を図る。</p>				
<p>■内容 ○ 視聴覚センター館内及び他施設での映画会の実施 ○ 地域イベント等への映像関係の支援 ○ 映像資料等の保存活用（デジタル化及びアーカイブ化） ○ 視聴覚教育活動（教材制作等）の支援</p>				
<p>■方向性 ○ 映像アーカイブシステムの導入 ○ 機材、教材の更新 ○ 旧型機材の維持</p>				

取組名		担当課	計画策定の視点	
No.7	ボランティア情報相談コーナーの運営	コミュニティ推進課	ライフステージ	SDGs
			デジタル化	リカレント教育
<p>■目的</p> <p>日立市社会福祉協議会等と連携し、ボランティア・市民活動等に関する情報の収集及び提供を行い、市民への啓発に努め、活動の振興を図る。</p>				
<p>■内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ボランティア団体の情報交換会や研修会の実施 ○ 活動に必要な助成金や研修会などの情報提供 ○ 日立市市民活動災害保障保険に関する事務 				
<p>■方向性</p> <p>必要な支援等を継続して実施していく。</p>				

取組名		担当課	計画策定の視点	
No.8	女性の就業支援	女性若者支援課	ライフステージ	SDGs
			デジタル化	リカレント教育
<p>■目的</p> <p>育児や介護などのために離職した女性や、就業を希望する女性が、その能力と個性を十分に発揮して働くことができるよう、技能向上や資格取得を支援し、再就職へのチャレンジを後押しするための講座を実施する。</p>				
<p>■内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 女性の希望をかなえる就業支援講座の実施 ○ オンラインによる就業支援講座実施の検討 				
<p>■方向性</p> <p>女性の就業率が上がってきているが、多くの女性はいまだ家庭の事情で働き方を制限せざるを得ない環境に置かれている。</p> <p>女性が様々な働き方について意思を持って選択できるよう、また、自信と希望を持って就労できるよう必要な支援を行う。</p>				

取組名		担当課	計画策定の視点	
No.9	離乳食教室の実施	健康づくり 推進課	ライフステージ	SDGs
			デジタル化	リカレント教育
<p>■目的 離乳食の知識の普及を行うとともに、参加者からの個別相談に対応し、安心して子育てができる環境づくりを図る。</p>				
<p>■内容 ○ 生後4か月から6か月の乳児を持つ保護者を対象に、離乳食教室の実施</p>				
<p>■方向性 保護者が安心して子育てできる機会として事業を継続するとともに、参加しやすい環境づくりとして、インターネットを活用した予約方法の見直しを行う。</p>				

取組名		担当課	計画策定の視点	
No.10	さくら教室の実施	さくら課	ライフステージ	SDGs
			デジタル化	リカレント教育
<p>■目的 本市の花である「桜」を通じて、郷土の宝を大切にすることを育む取組の一環として、桜に関する学習会を創出する。</p>				
<p>■内容 ○ 小学生を対象に「さくら教室」の実施</p>				
<p>■方向性 本市における桜の歴史の伝承や、桜に触れ合う機会を創出し、桜をシンボルとして誇れる意識の醸成を図るため、今後も「さくら教室」を継続して実施する。</p>				

取組名		担当課	計画策定の視点	
No.11	かみね動物園における教育普及活動	かみね公園管理事務所	ライフステージ	SDGs
			デジタル化	リカレント教育
<p>■目的 動物園は、レジャー施設であると同時に、教育普及や調査研究、種の保存についての役割も担う施設である。 来園者が楽しみながら学べる施設として、体系的に教育普及活動に取組み、魅力向上を図る。</p>				
<p>■内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 夏休みサマースクールの実施 ○ 移動動物園の実施（保育園・幼稚園） ○ 動物園と大学による共同調査研究の実施 ○ かみねおもしろZOOサロン等イベントの実施 ○ 各種観光キャンペーンとの連携によるイベントの実施 				
<p>■方向性 動物園には、「種の保存」、「教育・環境教育」、「調査・研究」、「レクリエーション」といった4つの役割があり、その中の「教育・環境教育」、「調査・研究」の認知度の向上により、動物を通じた命の大切さを学んでもらい、子どもたちの豊かな心を育む一助とする。</p>				

【関連する取組】

No.66	働き世代の休日講座の実施	(P70)
No.68	ひたち生き生き百年塾の活動支援	(P72)
No.71	学習機会提供のための関係団体との連携	(P75)



かみね動物園 夏休みサマースクールの様子

施策の方向性2 学びのきっかけとなる情報の提供・相談体制の強化

全ての市民が、学ぶことの楽しさや大切さに、興味・関心を持ち、生涯学習講座等に参加できるよう、様々な機会や手法を活用して学習情報を提供します。

また、多様な学習に関する問合せや相談に、いつでも対応できるよう、百年塾サロンなどにおける学習相談体制の充実を図ります。

【主な取組】

取組名		担当課	計画策定の視点	
No.12	男女共同参画の推進	女性若者支援課	ライフステージ	SDGs
			デジタル化	リカレント教育
<p>■目的 男女が共に互いを大切にして責任を分かち合い、生き生きと個性と能力を発揮することができる男女共同参画社会の形成に向けて積極的な情報提供を行い、理解促進を図る。 また、学校教育だけでなく、生涯にわたりキャリア形成についての学びが続けられるよう、女性が早い段階から将来を見据えたライフプラン形成について考える機会を提供する。</p>				
<p>■内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 小学生のいる家庭に男女共同参画に関する意識啓発 ○ リカレント教育*実施事業体制の構築 ○ 様々な職種で活躍している女性ロールモデル*の活動紹介 				
<p>■方向性 世代によって感覚の違う固定的性別役割分担意識の払拭を図るため、広報モニター等を活用した意見聴取、広報回数増、ロールモデルの対象拡大など、情報に偏りが出ないように工夫しながら、継続して実施していく。</p>				

取組名		担当課	計画策定の視点	
No.13	気象情報活用の充実	環境推進課	ライフステージ	SDGs
			デジタル化	リカレント教育
<p>■目的 公害克服の歴史を始め、天気の特徴、防災上の注意点を講座や行政放送で伝えるなど、市民の気象・防災知識の普及に向けた取組を促進する。</p>				
<p>■内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 実験や体験の要素を組み入れた出前講座の実施 ○ 観測所の増設 ○ 北部観測所の移転 ○ 熱中症や気象災害の注意点をまとめた短編動画の配信 				
<p>■方向性 日本唯一の自治体が直営する予報業務をいかし、市民に対して気象知識の普及と観測データの提供を行っていくことは、一人一人の災害予防につながるため、継続して実施していく。</p>				

取組名		担当課	計画策定の視点	
No.14	マタニティスクールの実施	健康づくり推進課	ライフステージ	SDGs
			デジタル化	リカレント教育
<p>■目的 健康教育により、育児力を高める正しい知識の普及、育児の不安軽減、児童虐待予防を図る。</p>				
<p>■内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 妊娠・出産についての知識や実用的な情報提供 ○ 妊婦同士が情報交換し、交流できる機会の提供 ○ 対面に加え、オンラインでも参加できる環境の整備 				
<p>■方向性 参加者ニーズ等の変化により、教育内容の見直し等を図りながら、継続して事業を実施していく。</p>				

取組名		担当課	計画策定の視点	
No.15	子育て支援アプリの提供	健康づくり 推進課	ライフステージ	SDGs
			デジタル化	リカレント教育
<p>■目的 紙の母子手帳を補完するものとして子育て支援アプリを提供し、市民の利便性向上を図る。</p>				
<p>■内容 ○ 子育て支援アプリに予防接種スケジューラー機能、電子母子手帳機能（妊婦管理・成長記録・乳幼児健診）、多言語機能を装備するとともに、子育て支援情報等を登録者に配信</p>				
<p>■方向性 国が進めている母子保健のデジタル化を注視し、必要なシステム改修等を行い、今後も、市民が活用しやすいアプリの提供を行っていく。</p>				

【関連する取組】

No.32	市政出前講座の実施	(P47)
No.68	ひたち生き生き百年塾の活動支援	(P72)



子育て支援アプリ

施策の柱Ⅱ

人生100年時代を豊かに生きる

- 1 共生社会の学びの支援
- 2 現代的・社会的課題や市民ニーズに応じた学びの支援
- 3 学びの環境の整備
- 4 生涯にわたるスポーツ・文化芸術活動の推進

【現状と課題】

- 共生社会の実現に向け、誰もが気軽に学習に参加できる環境づくりが必要です。
- 家族形態や働き方、ライフスタイルの変化に伴い、一人一人が豊かな生活を送るために求めている学習ニーズが多様化しています。また、情報化・多文化共生・環境問題など、急速な社会の変化による課題が生じており、学習ニーズや現代的課題に対応するための学習機会の提供が求められています。
- 人生100年時代において、誰もが生涯を生き生きと活躍できるよう、新たな学びを繰り返しながら新しいことに挑戦できる活動機会の充実が求められています。
- 市民の身近な学習施設である図書館等が、より利用しやすくなるよう、それぞれの特色をいかした魅力づくりが必要です。

【目指す5年後の姿】

- 市民は、いつでも、どこでも学べる環境で、生涯にわたり多様な学びに取り組んでいます。

【目標指標】

国際交流事業の参加者数

2022（R4）年度 4,138人 → 2028（R10）年度 4,400人

市民向けの生涯学習講座の参加者数

2022（R4）年度 411人 → 2028（R10）年度 650人

文化施設の利用者数

2022（R4）年度 348千人 → 2028（R10）年度 560千人



外国人との交流

施策の方向性 1 共生社会の学びの支援

年齢や性別、国籍、経済状況等にかかわらず、誰もが「いつでも、どこでも」学ぶことができるよう、多様な学習スタイルによる学習機会や交流機会の提供を図ります。

【主な取組】

取組名		担当課	計画策定の視点	
No.16	放課後児童対策の推進	生涯学習課	ライフステージ	SDGs
			デジタル化	リカレント教育
<p>■目的 放課後児童クラブ*及び放課後子ども教室*の環境を整備し、放課後等に、児童に適切な遊びや生活の場と安全・安心な居場所の提供、併せて、学習やスポーツ・文化活動、体験・交流活動の充実を図る。</p>				
<p>■内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 公設児童クラブ及び放課後子ども教室の一体的な実施 ○ 放課後児童クラブ及び放課後子ども教室の環境整備 				
<p>■方向性 放課後児童クラブ及び放課後子ども教室における利用者状況に応じた環境整備（場所、物、人）の充実を図る必要がある。 特にソフト面については、放課後児童クラブの開設時間延長、冬休み・春休みの利用拡大、配慮を要する児童の対応などの方策を検討していく。</p>				



放課後子ども教室における活動（バルーンアート）

取組名		担当課	計画策定の視点	
No.17	大学・専門学校等への修学支援	健康づくり 推進課 ・ 指導課	ライフステージ	SDGs
			デジタル化	リカレント教育
<p>■目的 経済的な理由によって修学が困難な若者を支援するため、奨学金の貸付を行う。 また、奨学金を利用して大学・専門学校等を卒業し、市内に居住するなどの要件を満たした方を対象に、奨学金返還金の支援を行うことにより、若者の定住促進や、医療・介護・福祉職の人材の確保を図る。</p>				
<p>■内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 奨学金の無利子貸付 ○ 市内に定住する奨学金返還者への助成 				
<p>■方向性 近年、奨学金利用者は増加傾向にある。より良い制度運営のため、利用者へのアンケート実施等により、事業効果の検証を行い、利用者ニーズの把握に努めて、継続的に取り組んでいく。</p>				

取組名		担当課	計画策定の視点	
No.18	多文化共生の推進	文化 ・ 国際課	ライフステージ	SDGs
			デジタル化	リカレント教育
<p>■目的 外国人市民が安心して暮らせるよう、多言語での情報提供や総合的な生活支援サービスを行い、多文化共生の地域づくりを推進する。</p>				
<p>■内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 外国人市民向け無料相談会の実施 ○ 外国人市民向け施設見学会の実施 ○ 国際交流ウォーキングの実施 ○ 市ホームページ等でのコロナや生活情報の発信 				
<p>■方向性 各種事業を継続して実施していくことにより、市民の国際交流活動の推進や、異文化への理解が深まるとともに、日本人と外国人が互いに認め合い共に生きていく「多文化共生社会」の実現を図る。 まずは、必要としている外国人市民に情報が届くように、幅広く事業参加、情報提供を図る方法を検討していく。</p>				

取組名		担当課	計画策定の視点	
No.19	生活困窮世帯の子どもに対する学習支援	生活支援課	ライフステージ	SDGs
			デジタル化	リカレント教育
<p>■目的 生活保護受給世帯の子どもの大学等進学率が一般家庭の子どもより著しく低いことを踏まえ、学習機会が十分でない生活困窮世帯の子どもに学習の機会を設け、子どもの将来の可能性を広げることにより、子どもの居場所づくりを図るとともに、貧困の連鎖の解消を目指す。</p>				
<p>■内容 ○ 生活困窮世帯の子どもに対する学習教室の実施</p>				
<p>■方向性 対象者のニーズに合わせ、教室、講師の必要数の見直すなど、事業の拡充を検討する。</p>				

取組名		担当課	計画策定の視点	
No.20	認知症サポーターの養成	高齢福祉課	ライフステージ	SDGs
			デジタル化	リカレント教育
<p>■目的 認知症高齢者が増加する中、認知症になっても、住み慣れた地域で安心して生き生きと生活できるよう、地域で支え合う体制の強化を図る。</p>				
<p>■内容 ○ 「認知症サポーター」養成講座の実施</p>				
<p>■方向性 認知症について学び、理解を深めることで、認知症の方とその家族を温かく見守る認知症サポーターの増員を図るため、幅広い年代を対象に養成講座を実施する。</p>				

取組名		担当課	計画策定の視点	
No.21	高齢者のデジタル端末活用支援	高齢福祉課	ライフステージ	SDGs
			デジタル化	リカレント教育
<p>■目的 いつでもメールやSNSなどを活用し、人とのつながり・交流が持てる機会や、市のホームページ等の行政情報について、即座に触れることができる機会の創出を図る。</p>				
<p>■内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ タブレット・スマートフォン講座の実施 ○ 個別に相談できる「高齢者ICT相談コーナー」の実施 				
<p>■方向性 高齢者を対象にタブレット・スマートフォン講座を実施するとともに、スマホ等の操作方法等について、気軽に個別相談ができるコーナーを引き続き実施する。 また、当該事業の周知広報を継続して行い、利用者増に努める。</p>				

取組名		担当課	計画策定の視点	
No.22	高齢者の資格取得支援	高齢福祉課	ライフステージ	SDGs
			デジタル化	リカレント教育
<p>■目的 高齢者が生きがいを持って生き生きと活動できる明るい長寿社会の実現と介護予防の推進を図る。</p>				
<p>■内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 資格等取得に要した経費の一部補助 				
<p>■方向性 高齢者の生きがいづくりの更なる拡大を図り、明るく活力ある長寿社会を実現するため、事業を検証しながら実施する。 また、当該事業の周知広報を継続して行い、利用者増に努める。</p>				

取組名		担当課	計画策定の視点	
No.23	障害者理解の啓発と 社会参加の促進	障害福祉課	ライフステージ	SDGs
			デジタル化	リカレント教育
<p>■目的 障害に対する正しい理解を啓発し、成年後見制度の利用促進や障害者差別の解消、虐待の未然防止などへの取組を推進し、共生社会の実現を図る。</p>				
<p>■内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 日立市ふれあい運動の実施会 ○ 障害者権利擁護の実施 ○ 虐待防止研修会の実施 ○ スポーツ・レクリエーションふれあい教室の実施 ○ 障害者作品展の実施 				
<p>■方向性 共生社会の実現のためには、地域に暮らす誰もが障害についての正しい知識を持ち、助け合い・支え合う地域づくりを進めていく。</p>				

取組名		担当課	計画策定の視点	
No.24	子ども家庭支援の推進	子育て支援課	ライフステージ	SDGs
			デジタル化	リカレント教育
<p>■目的 家庭における適正な児童養育、その他の家庭児童福祉の向上を図るため専門的な相談や支援を行う。 また、児童の養育環境の悪化や保護者の養育力の低下等の相談が増加しているため、家庭における児童の養育環境の健全化を図り、児童と家庭に関する様々な問題の解決のほか、ひとり親家庭の自立促進を図るための相談や支援を行う。</p>				
<p>■内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭における児童の養育環境の健全化及び児童福祉の向上を図るための相談 ○ 養育支援が特に必要であると判断した家庭への訪問指導、助言等 ○ 保護者が疾病等により養育することができない場合の一時的な児童養護施設等での保護 ○ ひとり親家庭の母又は父が、資格取得のために修学する場合の給付金の支給 				
<p>■方向性 全ての家庭が子育てしやすい環境づくりを一層進めるため、こども家庭センターを始め、保育施設、学校、子育て支援施設など様々な所で相談しやすい体制を整えるとともに、ホームページや情報アプリ等を活用した効果的な子育て情報の提供に努める。</p>				

取組名		担当課	計画策定の視点	
No.25	乳幼児一時預かりの実施	子ども施設課	ライフステージ	SDGs
			デジタル化	リカレント教育
<p>■目的 保護者の用事や仕事、リフレッシュなどにより、家庭における保育が一時的に困難となった乳幼児を預かり、必要な保育を行うことで、地域のニーズに合わせた子育て支援の充実を図る。</p>				
<p>■内容 ○ 保育園や認定こども園、幼稚園において乳幼児の一時預かりを実施 ※ 各園によって、対象となる乳幼児が異なる。</p>				
<p>■方向性 現在、こども家庭庁のこども誰でも通園制度（仮称）のモデル事業が県外の自治体において実施されており、今後、国の方針により、事業の考え方が変更になることも予想されるため、国の動向を注視する。</p>				

【関連する取組】

No. 8	女性の就業支援	(P30)
No.12	男女共同参画の推進	(P33)
No.67	外国人児童生徒に対する学校生活支援	(P71)



読み聞かせ

施策の方向性2 現代的・社会的課題や市民ニーズに応じた学びの支援

社会の変化やライフスタイルが多様化する中、市民のライフステージに応じた幅広い学習プログラムの提供と継続的な学習機会の充実を図るとともに、誰もが学習に参加しやすい環境づくりに取り組みます。

【主な取組】

取組名		担当課	計画策定の視点	
No.26	豊かな体験活動の実施	生涯学習課	ライフステージ	SDGs
			デジタル化	リカレント教育
<p>■目的 地域の人材や企業等の協力を得て、土曜日や長期休業期間における子どもたちの多様な体験活動の機会を設け、豊かな心と生きる力を育む教育支援体制の強化を図る。</p>				
<p>■内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 夏休み子ども教室（地学）の実施 ○ 伝統芸能活動の実施 ○ 地域と連携した食育講座の実施 ○ ひたちっ子わくわくイングリッシュ（英語体験活動）の実施 				
<p>■方向性 土曜日や長期休業期間を利用した体験活動として、今後も継続して取り組んでいく。 また、英語体験活動については、より多くが参加できるよう、機会の拡大を検討する。</p>				



伝統芸能活動「十王鶉鳥舞」

取組名		担当課	計画策定の視点	
No.27	郷土教育の推進	指導課	ライフステージ	SDGs
			デジタル化	リカレント教育
<p>■目的 郷土博物館等の施設の見学を通じて児童の郷土への関心を高め、また、郷土や暮らしについての身近な内容の副読本を児童に配布することで、郷土学習の充実を図る。</p>				
<p>■内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 郷土博物館、日鉱記念館、日立オリジンパーク等での校外学習の実施（小学6年生） ○ 副読本（のびゆく日立）の配布（小学3・4年生） 				
<p>■方向性 鉱工業を中心に発展してきた本市の歩みや、戦災とその復興を中心とする歴史に対する児童の理解を深め、郷土を誇りに思う気持ちを育むため、継続して取り組んでいく。 また、郷土博物館の「バーチャルミュージアム」など、デジタルコンテンツの積極的な活用も検討する。</p>				

取組名		担当課	計画策定の視点	
No.28	エネルギー教育の充実	指導課	ライフステージ	SDGs
			デジタル化	リカレント教育
<p>■目的 原子力・エネルギー学習に関連する教材・教具を小・中・義務教育学校に配布し、エネルギー教育の充実を図る。</p>				
<p>■内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教材を活用した理科の授業による、児童生徒の原子力及びエネルギーに関する基礎知識の育成 				
<p>■方向性 児童生徒がエネルギーに関する理解を深め、脱炭素社会の実現に向けて重要な取組であるため、継続して取り組んでいく。</p>				

取組名		担当課	計画策定の視点	
No.29	総合的な学習の時間の実践支援	指導課	ライフステージ	SDGs
			デジタル化	リカレント教育
<p>■目的 地域や学校、児童生徒の実態に応じて、児童生徒の興味・関心等に基づく探究的な活動など、各学校の創意工夫をいかした特色ある教育活動ができるように支援する。</p>				
<p>■内容 ○ 地域の歴史に詳しい方や地域の専門家から、本市の歴史や文化などを学ぶ取組の実施</p>				
<p>■方向性 生活の中で役立つ能力の育成や、学びに関する意欲の育成などを重視し、地域社会や自然に関する学習を通じて、多様な学習機会を提供する。 単元の縦割りの学習の垣根を取り払い、科目を横断する学習を推進することで、学習の一貫性や関連性を高め、体験活動を通じて学ぶ機会を増やしていく。</p>				

取組名		担当課	計画策定の視点	
No.30	いのちの教育の実施	指導課・健康づくり推進課	ライフステージ	SDGs
			デジタル化	リカレント教育
<p>■目的 助産師や医師等を講師として、かけがえのない「いのち」の大切さ、素晴らしさを伝え、子どもの自他共に大切とする心を育むとともに、親子の絆を深める。</p>				
<p>■内容 ○ 小学4年生（親子）を対象とした「助産師が伝えるいのちの教育」の実施 ○ 中学3年生を対象とした「医師等が伝えるいのちの教育」の実施</p>				
<p>■方向性 「いのちの教育」を実施するに当たっては、社会状況の変化などに合わせて、教育内容の見直しについても検討する。</p>				

取組名		担当課	計画策定の視点	
No.31	大学との連携の推進	政策企画課	ライフステージ	SDGs
			デジタル化	リカレント教育
<p>■目的 まちづくりを進める上での貴重な資源であり、重要なパートナーでもある大学との連携を強化し、市と大学が有する情報・知識・人材等を互いにかししながら、大学連携事業の推進を図っていく。</p>				
<p>■内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学生プロジェクト*の実施 ○ 茨城大学、茨城キリスト教大学、常磐大学との連携強化 				
<p>■方向性 茨城キリスト教大学との共同事業である「学生プロジェクト」の目的は、学生への学習機会の提供、アイデアやニーズの掘り起こしなどであり、この活動を通じて、本市の発展及び学生の社会貢献意識の醸成による地域への愛着心の高揚が図られているところである。 学生の発表内容が、本市の課題解決につながるものもあることから、今後も引き続き、学生の研究結果の熟度向上と、提案後における担当部署へのフォローアップを図っていく。</p>				

取組名		担当課	計画策定の視点	
No.32	市政出前講座の実施	広報戦略課	ライフステージ	SDGs
			デジタル化	リカレント教育
<p>■目的 市政に対する市民の理解を深めるとともに、市民から意見等を聴くことにより、事務事業の改善等に役立てるため、市職員が地域に赴いて、本市の施策等を説明する。</p>				
<p>■内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 市民団体等に対し、希望する市政に関するテーマの講座の実施 				
<p>■方向性 市民の市政に対する理解を深めるとともに、学習機会の充実等を図るため、市民への周知広報に努めながら、事業を継続する。</p>				

取組名		担当課	計画策定の視点	
No.33	交通安全の指導・啓発	交通防犯課	ライフステージ	SDGs
			デジタル化	リカレント教育
<p>■目的</p> <p>市民一人一人の交通安全に対する意識を向上させ、交通事故の減少を図る。</p>				
<p>■内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 関係団体と連携、協力した各季における交通安全運動、啓発キャンペーン及び高齢者在家庭訪問の実施 ○ 園児、児童生徒、保護者、高齢者を対象とした交通安全教室の実施 				
<p>■方向性</p> <p>交通事故を防止するため、継続して市民の安全意識の高揚を図る。</p>				

取組名		担当課	計画策定の視点	
No.34	ライフステージに応じた消費者教育の推進	女性若者支援課	ライフステージ	SDGs
			デジタル化	リカレント教育
<p>■目的</p> <p>高齢化の進行、成年年齢の引下げ、デジタル化の進展など、消費生活の環境が大きく変化していることから、消費者のライフスタイルやニーズに合わせた消費者被害防止のための教育を推進する。</p>				
<p>■内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 悪質商法被害防止啓発品配布 ○ 高齢者被害防止のための啓発 ○ 中学生のための消費生活ハンドブックの作成・配布 ○ 出前講座の実施 ○ 20歳の方を対象とした啓発チラシの作成・配布 				
<p>■方向性</p> <p>消費者被害を防止するためには、消費者が悪質商法等の消費生活に関する知識や情報を習得することが効果的であるため、様々な学ぶ場面を提供する。また、高齢者の被害が多いことから地域などで見守り活動をする消費生活サポーターの育成や、見守り活動をしている団体等との連携を図る。</p>				

取組名		担当課	計画策定の視点	
No.35	環境意識の醸成・向上	環境推進課	ライフステージ	SDGs
			デジタル化	リカレント教育
<p>■目的 次世代を担う子どもたちの環境への関心の芽を育てるため、自然観察会、環境保全活動、学習会を実施する。 また、環境意識の醸成や、地域の環境リーダーの育成を目的として、自然を守るための実践活動を行う団体に対し、補助を行う。</p>				
<p>■内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもの環境教育活動への支援 ○ 環境を考えるポスター展の実施 ○ ひたちこどもエコクラブ*活動の推進 				
<p>■方向性 環境活動の継続性を図るため、次世代の環境リーダーを育成する。 また、環境意識の醸成を目的とする「環境補助金」が、幅広く活用されるように事業のPRを強化し、新規活用団体を掘り起こす。</p>				

取組名		担当課	計画策定の視点	
No.36	シルバーリハビリ体操の普及啓発	健康づくり推進課	ライフステージ	SDGs
			デジタル化	リカレント教育
<p>■目的 シルバーリハビリ体操を普及させることにより、高齢者の閉じこもり予防や心身機能の維持・向上、介護予防を図る。</p>				
<p>■内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ シルバーリハビリ体操指導士*3級養成講習会の実施 ○ シルバーリハビリ体操教室の実施支援 				
<p>■方向性 指導士の高齢化が進んでいるとともに、負担が一部の人に偏っていることから、更なる養成について検討する。</p>				

取組名		担当課	計画策定の視点	
No.37	健康運動教室の実施	健康づくり 推進課	ライフステージ	SDGs
			デジタル化	リカレント教育
<p>■目的</p> <p>生活習慣病予防のため、成人期から高齢期の方の体力及び筋力の向上を図る。</p>				
<p>■内容</p> <p>○ 各コミュニティ単会が実施する健康運動教室の指導者（フィットネスインストラクター、保健師、栄養士、歯科衛生士など）の派遣</p>				
<p>■方向性</p> <p>各コミュニティ単会が主体となって健康運動教室が企画・運営できるよう継続した支援が必要である。</p>				

取組名		担当課	計画策定の視点	
No.38	未成年者の喫煙対策	健康づくり 推進課	ライフステージ	SDGs
			デジタル化	リカレント教育
<p>■目的</p> <p>未成年者及び保護者を対象に、市医師会、歯科医師会、学校、幼稚園等と連携し、喫煙の害を学ぶ機会を提供し、正しい知識の普及を図る。</p>				
<p>■内容</p> <p>○ 未就学児親子の喫煙防止研修会の実施</p>				
<p>■方向性</p> <p>日立市地域医療協議会「タバコと健康に関する専門委員会」、歯科医師会、教育委員会等関係機関と連携し、喫煙対策を推進していく。</p>				

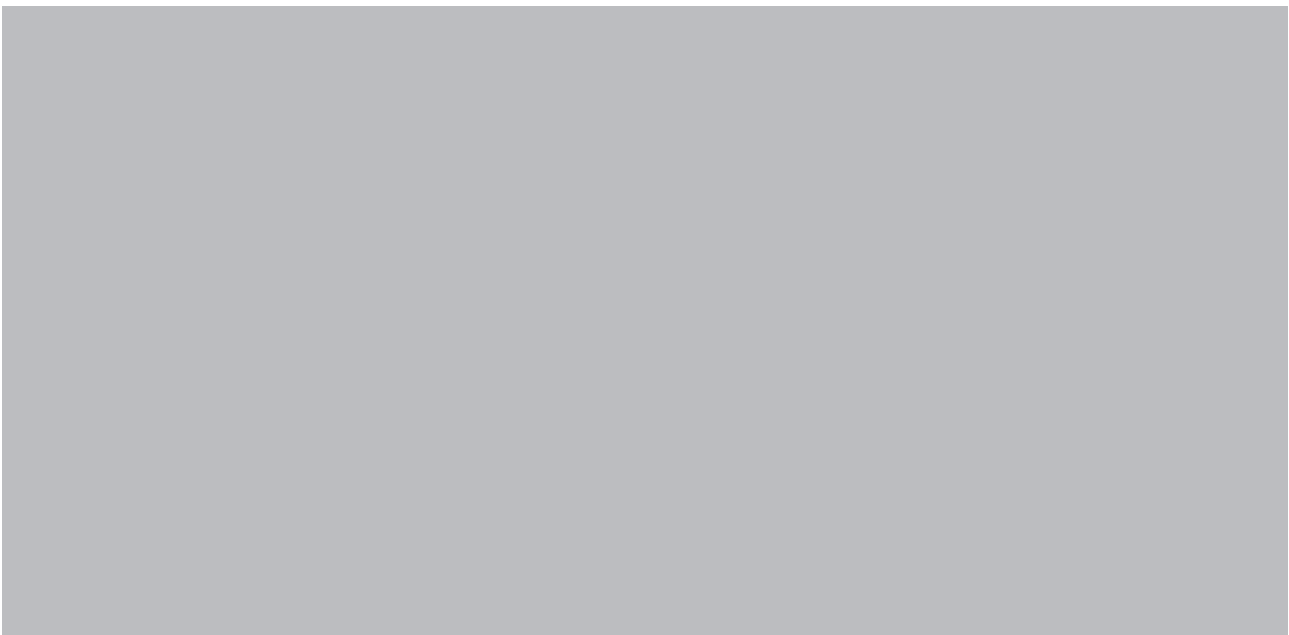
取組名		担当課	計画策定の視点	
No.39	食生活改善の推進	健康づくり 推進課	ライフステージ	SDGs
			デジタル化	リカレント教育
<p>■目的 乳児から高齢者まで、ライフステージに応じた望ましい食習慣づくりと生活習慣病予防のための知識普及を図る。</p>				
<p>■内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 食生活改善推進員の養成 ○ 食生活改善推進員地区組織活動事業の実施 				
<p>■方向性 働き世代に対し、食育支援をするためのアプローチについての検討が必要である。</p>				

取組名		担当課	計画策定の視点	
No.40	高校生に対する思春期教育の実施	健康づくり 推進課	ライフステージ	SDGs
			デジタル化	リカレント教育
<p>■目的 高校生を対象に、将来子どもを産みたいと希望する適切な時期に妊娠・出産ができるよう、「ライフプラン教育」を実施し、妊娠・出産に関する正しい知識の普及を行い、望まない妊娠を防ぎ、児童虐待の予防を図る。</p>				
<p>■内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 高等学校と連携し、「ライフプラン教育」の実施 				
<p>■方向性 社会の変化に合わせて、教育内容を見直す必要がある。</p>				

取組名		担当課	計画策定の視点	
No.41	応急救護知識の普及啓発	警防課	ライフステージ	SDGs
			デジタル化	リカレント教育
<p>■目的</p> <p>市民に対する応急手当普及啓発を強化することにより、応急手当の実施率の向上を図る。</p>				
<p>■内容</p> <p>○ 普通救命講習や救急教室等の各種講習会の実施</p>				
<p>■方向性</p> <p>感染症に対する社会の動向を注視しつつ、市民からの要望に対し、安定して講習会を開催できる体制を整備する必要がある。</p>				

【関連する取組】

No.13	気象情報活用の充実	(P34)
-------	-----------	-------



施策の方向性3 学びの環境の整備

図書館や博物館等の生涯学習関連施設が、市民にとって利用しやすい、魅力のある学習の場となるよう、利便性の向上や新たな交流の創出に向けた取組を推進するとともに、安全で快適な施設となるよう、適切な維持管理を行います。

また、ICTの活用により、時間的制約や地理的制約を解消することで、学習機会の拡大を図ります。

【主な取組】

取組名		担当課	計画策定の視点	
No.42	電子書籍貸出サービス活用による読書活動の推進	記念図書館	ライフステージ	SDGs
			デジタル化	リカレント教育
<p>■目的 普段、図書館に来館しにくい社会人や介護・子育て中の方等が、来館せず「いつでも、どこでも、だれでも利用できる読書環境」を提供し、図書館サービスのユニバーサル化を図る。</p>				
<p>■内容 ○ 電子書籍貸出サービスの実施</p>				
<p>■方向性 電子書籍の更なる利用の拡大に努める。</p>				

取組名		担当課	計画策定の視点	
No.43	移動図書館車の運行	記念図書館	ライフステージ	SDGs
			デジタル化	リカレント教育
<p>■目的 移動図書館車を運行し、図書館利用が困難な地域や高齢者福祉施設などに図書館サービスを提供する。 また、幼児施設や夏休みに公設児童クラブを巡回し、子ども読書活動の推進を図る。</p>				
<p>■内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 図書館利用が困難な地域、高齢者福祉施設、幼児施設等を巡回 ○ 夏休みに公設児童クラブを巡回し ○ 各種イベントで移動図書館車の実施 				
<p>■方向性 利用の少ないステーションにチラシを配布するなどにより、更なる利用の拡大に努めるとともに、幼児施設や公設児童クラブへ巡回することで、子ども読書活動の推進を図っていく。</p>				

取組名		担当課	計画策定の視点	
No.44	図書館サービスの充実	記念図書館	ライフステージ	SDGs
			デジタル化	リカレント教育
<p>■目的 地域の学びを支えるとともに、多様化する市民のニーズやデジタル化等の時流に応じた幅広いサービスを展開することで、市民の利便性向上と図書館の魅力向上を図る。</p>				
<p>■内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 図書館資料、情報提供、レファレンスサービス※の更なる充実 ○ 本の企画展示、講座・講演会、図書館まつり等の開催 ○ 朗読、大人のためのお話し会等の大人向け読書活動の推進 ○ 他市町村との広域連携（相互貸出）の推進 ○ 学校との連携、交流センターなどへの配本、団体貸出サービスの推進 ○ 図書館専用ホームページ等による広報活動の充実 ○ 図書館ボランティア、自主グループの育成と協働推進 				
<p>■方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 多様化する市民のニーズやデジタル化等の時流に応じた幅広いサービスを展開する。 ○ 学校、交流センター、他市町村図書館等との幅広い連携を強化する。 ○ 図書館ボランティアの育成と協働による図書館の活性化を図る。 				

取組名		担当課	計画策定の視点	
No.45	郷土博物館の魅力づくり	郷土博物館	ライフステージ	SDGs
			デジタル化	リカレント教育
<p>■目的 進展する高齢化に対応し、さらには、現役世代から児童生徒まで幅広い世代が交流しながら活躍できる機会を提供する場として、郷土博物館の魅力向上に取り組む。 また、限られたスペースでの展示に加えて、資料情報等の効果的な提供を図るため、ICTを活用した拡張展示や資料解説、インターネットを活用した収蔵品情報及び展示の在宅利用などの非来館サービス提供を進める。</p>				
<p>■内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 郷土博物館機能のICT化推進 ○ 来館者および非来館者サービスの拡充 ○ 収蔵資料を活用し、より多様なニーズに応えることができる特別展示等の開催 				
<p>■方向性 博物館法の改正により、資料のデジタルアーカイブ化推進が求められているため、収蔵品データベースの掲載内容の整備に努め、資料情報の充実を図る。</p>				

取組名		担当課	計画策定の視点	
No.46	文化財の活用推進	郷土博物館	ライフステージ	SDGs
			デジタル化	リカレント教育
<p>■目的 本市の誇る文化財を活用し地域の魅力を再発見することにより、進展する高齢化に対応するアクティブシニアの活躍の場を拡大し、また、若者のシビックプライドの醸成を培い定住促進を促す。</p>				
<p>■内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 文化財回廊モデルルートの作成 ○ 文化財・史跡等への案内板等設置 ○ ICT技術を活用した展示の検討 ○ 遺跡等のビジターセンター整備 				
<p>■方向性 施設等の整備、特に長者山遺跡*周辺のビジターセンターなど大規模な整備費用が想定される事業については、文化庁ほか各省庁等からの財源確保について十分に検討する必要がある。</p>				

取組名		担当課	計画策定の視点	
No.47	交流センターにおける フリースペース等の整備	コミュニティ 推進課	ライフステージ	SDGs
			デジタル化	リカレント教育
<p>■目的 交流センターに、子育て世代、子どもたち等が気軽に立ち寄れる「フリースペース」や、利用しやすい「学習室」などを整備し、親しみやすい施設にすることで、顔が見える関係づくりのきっかけとし、コミュニティ活動の拡張を図る。</p>				
<p>■内容 ○ フリースペースの整備</p>				
<p>■方向性 交流センターに気軽に立ち寄れる環境を整備することで、地域コミュニティの活動拠点である交流センターがより多くの方に利用され、コミュニティ活動の活性化につなげる。</p>				

取組名		担当課	計画策定の視点	
No.48	コミュニティ活動における デジタル化の推進	コミュニティ 推進課	ライフステージ	SDGs
			デジタル化	リカレント教育
<p>■目的 コミュニティ活動の効率化を図るため、デジタル化を推進し、若者等が参加しやすい環境を整備する。</p>				
<p>■内容 ○ 各コミュニティ主催のデジタル勉強会等の開催支援 ○ デジタル支援員による支援 ○ オンライン会議の活用 ○ LINEやインスタグラムなどのSNSによる情報配信</p>				
<p>■方向性 デジタル機器の配備をきっかけに、各コミュニティがSNSでの情報発信やイベント申込み、アンケートなどのオンライン化に取り組み、コミュニティ活動に参加しやすい環境を整備する。</p>				

【関連する取組】

No. 6	映像文化の振興	(P29)
No.68	ひたち生き生き百年塾の活動支援	(P72)
No.70	若者のチャレンジ応援	(P73)

施策の方向性4 生涯にわたるスポーツ・文化芸術活動の推進

全ての市民がスポーツを気軽に親しみ、楽しむことができるよう、ライフステージやライフスタイルに応じて参加できる多様なスポーツ教室等を実施し、スポーツができる機会の充実を図ります。

誰もが文化芸術に親しみ、楽しむことができるよう、文化芸術を鑑賞したり、体験したりする学習機会を提供するとともに、市民自らが活躍できる場をつくるなど、市民の文化芸術活動を促進します。

【主な取組】

取組名		担当課	計画策定の視点	
No.49	プレゴールデンエイジの育成	スポーツ推進課	ライフステージ	SDGs
			デジタル化	リカレント教育
<p>■目的</p> <p>「プレゴールデンエイジ」の子どもたちを対象に、「走る、跳ぶ、投げる」といった基本動作ができる「運動遊びプログラム」を、スポーツ団体と連携しながら、モデル事業として実施する。</p>				
<p>■内容</p> <p>○ プレゴールデンエイジモデル事業の実施</p>				
<p>■方向性</p> <p>モデル事業の効果を検証し、本格実施に向けて、「遊びのプログラム」の定着を図る。</p>				

プレゴールデンエイジ

5歳から8歳頃の年齢層のこと。

5歳から8歳頃は、神経系統が著しく発達し、体内に様々な神経回路が張り巡らされていく時期で、この時期にいろいろな運動を経験するかしないかで、その後の動作の習得に大きく影響すると言われています。



取組名		担当課	計画策定の視点	
No.50	参加型のスポーツ・レクリエーション事業の推進	スポーツ振興課	ライフステージ	SDGs
			デジタル化	リカレント教育
<p>■目的 市民のスポーツ・レクリエーション活動の機会を提供するため、市民が参加することができる各種スポーツ・レクリエーション事業について、（公財）日立市スポーツ協会と連携して推進する。</p>				
<p>■内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ぷら・スポフェスタの開催 ○ 日立KIZUNAリレーマラソンの開催 ○ 日立パンポン大会の開催支援 ○ 日立市少年少女スポーツ大会の開催 				
<p>■方向性 スポーツ習慣がない市民が参加しやすい環境を提供し、スポーツへの興味関心を高めるとともに、スポーツに取り組む市民が成果を発揮する機会の充実を図る。</p>				

取組名		担当課	計画策定の視点	
No.51	スポーツ少年団の運営支援	スポーツ振興課	ライフステージ	SDGs
			デジタル化	リカレント教育
<p>■目的 子どもたちがスポーツに親しむ習慣を身に付けるとともにスポーツを通じた人間形成に重要な役割を果たしているスポーツ少年団に対し、円滑な運営や活動場所の確保を図るための支援を推進する。</p>				
<p>■内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ スポーツ少年団本部の運営支援 ○ 活動場所の確保（スポーツ施設の使用料免除、学校体育施設開放） 				
<p>■方向性 スポーツ少年団は、少子化により団員数・団数が減少している一方で部活動の地域移行により、中学生団員数の増加が見込まれることから、指導者や活動場所の確保について併せて検討する。</p>				

取組名		担当課	計画策定の視点	
No.52	総合型地域スポーツクラブ*の育成	スポーツ振興課	ライフステージ	SDGs
			デジタル化	リカレント教育
<p>■目的 (公財) 日立市スポーツ協会と連携を図りながら総合型地域スポーツクラブの支援、育成を行い、地域におけるスポーツの推進を図る。</p>				
<p>■内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 総合型地域スポーツクラブの自立した運営への支援 ○ 総合型地域スポーツクラブへの活動場所や指導者の確保等多角的な支援 ○ 市内総合型地域スポーツクラブの情報交換等の実施 				
<p>■方向性 総合型地域スポーツクラブは新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響もあり、会員数が減少している。財政基盤の確立や指導者の確保が大きな課題となっており、多角的な支援を検討する。</p>				

取組名		担当課	計画策定の視点	
No.53	部活動の段階的な地域移行	指導課	ライフステージ	SDGs
			デジタル化	リカレント教育
<p>■目的 中学生のスポーツ等の環境について、国・県が示した改革推進期間である令和7年度末を目途に、休日における部活動を学校単位から地域単位での活動に移行し、将来にわたり生徒がスポーツ等に継続して親しむことができる機会を確保する。</p>				
<p>■内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 市内を3ブロック（北部ブロック・中部ブロック・南部ブロック）に分け、1ブロックごとに1種目当たり1団体を目安に部活動の地域移行を推進 				
<p>■方向性 これまでの実証内容（予算、人員配置等）等を参考に、部活動の地域移行を検討する。</p>				

取組名		担当課	計画策定の視点	
No.54	文化・芸術を通じた 交流・にぎわいづくり	文化・ 国際課	ライフステージ	SDGs
			デジタル化	リカレント教育
<p>■目的 誰もが身近に文化・芸術に親しめる環境づくりを進め、文化・芸術事業による交流人口の拡大とにぎわい創出を図るため、多様なジャンルの文化芸能の鑑賞機会を市民に提供し、文化施設の魅力向上に取り組む。</p>				
<p>■内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ひたち秋祭りの開催支援 ○ ひたち国際大道芸の開催支援 ○ ヒタチスターライトイルミネーションの開催支援 ○ ひたちこども芸術祭の開催支援 ○ 吉田正記念事業の実施 ○ 角記念市民ギャラリーの運営 ○ 文化少年団の活動支援 				
<p>■方向性 人口減少・少子高齢化に伴い、多くの文化・芸術活動団体において人材（指導者・後継者）が不足しており、次世代の担い手となる青少年の育成支援が必要となっているため、継続して各種団体への支援を行うとともに、幅広い世代が魅力を感じる事業展開や施設の在り方について検討する。</p>				

【関連する取組】

No.65	ラジオ体操の普及	(P70)
-------	----------	-------

日立市の少年団

職業探検少年団（本市独自の取組）

子どもたちが、地域の専門家やボランティアなどの指導のもと、一年間の活動を通じて「仕事」について探検（見る・聞く・体験する）する活動をしています。

ものづくり、科学、メディア、農業、水産業など11の少年団が活動しています。



ひたち建築デザイン探検少年団



ひたち水産業探検少年団

文化少年団（本市独自の取組）

子どもたちが、関心のある文化活動を自由に選択し、その文化に触れ、体験する活動をしています。

茶道、書道、弦楽合奏、お琴、日本舞踊、合唱など23の少年団が活動しています。



日立茶道文化少年団



日立文化少年団能楽部

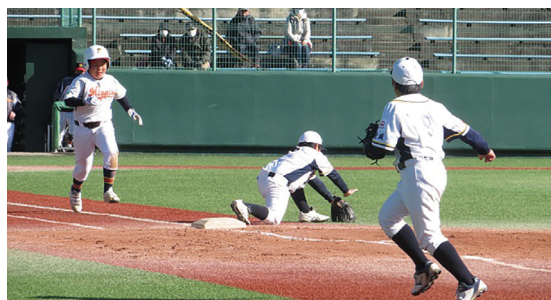
スポーツ少年団

子どもたちが、スポーツを計画的・継続的に実践し、スポーツを通じて「心とからだ」を育て、スポーツの喜びを体験する活動をしています。

サッカー、軟式野球、空手道、ミニバスケットなど92の少年団が活動しています。



バレーボール少年団



軟式野球少年団

施策の柱Ⅲ

支え合い共に生きる社会を創る

- 1 子どもの「育ち」を支える学校・家庭・地域の連携・協働
- 2 地域を豊かにする学びの推進
- 3 学びをいかし、みんながつながる環境の充実
- 4 若者が活躍できる機会の充実
- 5 協働体制の構築

【現状と課題】

- 少子化や家族形態の変化等により、子ども同士のコミュニケーションや異なる年齢との交流が減少する中、社会性や豊かな人間性を育むために必要となる、幅広い経験や多様な人々との関わりを確保するため、学校と家庭に加え、地域での学びが重要となります。
- 地域と学校の連携・協働による子どもたちの豊かな育ちの支援に関する取組の必要性は非常に高く、地域と学校による協働活動を推進するための人材育成や、人材確保のための研修の充実や利用促進に向けた情報発信が求められています。
- 生涯学習活動をより活発にするために、仕事や趣味等で身に付けた知識や技能が地域でいかされるよう、地域・社会で活躍できる人材・団体の育成に向けた活動や、地域での活動に直接つながるような支援の充実が必要となります。
- 若者が、自分が学んだり活動したりすることが、地域社会で役立つことを実感できるような活動支援を行うとともに、若者が、新しい視点や今までにない立場で発見を提供してくれる仲間として、共に活動できる環境づくりが必要です。
- 市民の多様化・高度化する学習ニーズに対応ができるよう、企業、大学、NPO団体等と連携・協働し、多様な学習機会を提供することが求められています。

【目指す5年後の姿】

- 市民は、住み慣れた地域で共に学び、地域の一員として支え合いながら、生きがいを持ち、笑顔で、様々な生涯学習活動に取り組んでいます。

【目標指標】

ひたち生き生き百年塾推進委員数（4月1日現在）

2023（R5）年度 86人 → 2028（R10）年度 110人

地域活動（行事）に参加している人の割合

2021（R3）年度 28.9% → 2028（R10）年度 35.0%

地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う児童生徒の割合

小学生 2023（R5）年度 76.3% → 2028（R10）年度 82.0%
中学生 2023（R5）年度 62.4% → 2028（R10）年度 68.0%

コミュニティ・スクールや地域学校協働活動*等の取組によって、地域、学校及び保護者の相互理解が深まった学校の割合

小学校 2023（R5）年度 92.0% → 2028（R10）年度 100.0%
中学校 2023（R5）年度 100.0% → 2028（R10）年度 100.0%



ひたち生き生き百年塾による「小学生ボランティアガイド体験」講座

施策の方向性 1 子どもの「育ち」を支える学校、家庭及び地域における連携・協働

全ての保護者が、子育ての喜びを実感しながら、子どもの発達段階に応じた子育てや教育ができるよう、様々なニーズに対応した学習や体験の機会、保護者同士が交流・情報交換できるような場を提供します。

地域社会との様々な関わりを通じて、子どもたちの学びや成長を支えるとともに、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して様々な活動を行う地域学校協働活動^{*}を推進し、社会に開かれた教育課程の実現、家庭及び地域における連携を進めます。

【主な取組】

取組名		担当課	計画策定の視点	
No.55	地域学校協働活動の推進	生涯学習課	ライフステージ	SDGs
			デジタル化	リカレント教育
<p>■目的 地域と学校が協働した組織的かつ継続的な体制を確立し、本市における子ども育成環境の充実を図る。</p>				
<p>■内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域学校協働活動推進員[*]（コーディネーター）の育成 ○ 他の自治体における取組の紹介 ○ 地域学校協働活動推進員活動の支援 				
<p>■方向性 学校運営協議会[*]において地域と学校の関わりについて活発な議論が行われるよう、学校運営協議会の支援を含め、本活動が有意義となる体制づくりに取り組んでいく。</p>				

取組名		担当課	計画策定の視点	
No.56	家庭教育の推進	生涯学習課	ライフステージ	SDGs
			デジタル化	リカレント教育
<p>■目的 子育て世代が安心感と自信を持って家庭教育を行うことができるよう、家庭教育の大切さを啓発するとともに、学びの機会を提供するなど、家庭の教育力の向上を図る。</p>				
<p>■内容 ○ 家庭教育に関する学校サポート事業の実施</p>				
<p>■方向性 家族形態の多様化、共働き家庭等の増加により、子育て環境は大きく変化しており、子どもの健やかな成長のため、地域や行政が支援を行う。</p>				

取組名		担当課	計画策定の視点	
No.57	学校運営協議会※制度の推進	指導課	ライフステージ	SDGs
			デジタル化	リカレント教育
<p>■目的 小・中・義務教育・特別支援学校に学校運営協議会を設置し、保護者及び地域住民等の学校運営への参画を図る。 また、保護者及び地域住民等による学校運営への支援・協力を推進することにより、学校と保護者及び地域住民等との信頼関係を深め、学校運営の改善や児童生徒の健全育成を図る。</p>				
<p>■内容 ○ 学校運営協議会の実施</p>				
<p>■方向性 学校運営協議会を推進し、地域の中の学校として学校の活性化を図る必要があるため、地域コーディネーターとの連携を図っていく。</p>				

取組名		担当課	計画策定の視点	
No.58	乳幼児から本に親しむ機会の提供	記念図書館	ライフステージ	SDGs
			デジタル化	リカレント教育
<p>■目的 ブックスタート事業による絵本を通して乳幼児と保護者の触れ合いを深めるきっかけづくりを支援する。 また、乳幼児の感性や言葉を育む上で大切な読み聞かせを行い、乳幼児期から本に出会える環境づくりと子育て情報の提供などによる子育て支援の充実を図る。</p>				
<p>■内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ボランティアとの協働によるブックスタート事業の推進 ○ 乳幼児向けおはなし会の実施 ○ 「親のための読み聞かせ講習会」の実施 ○ 子育て支援コーナーにおける子育て支援情報の提供 				
<p>■方向性 保育園・幼稚園などにおいて、入園前の子を持つ保護者に対し、親子での読書や図書館利用を勧めるとともに、本市の子育て支援情報についても広報に努める。</p>				

取組名		担当課	計画策定の視点	
No.59	子ども読書活動の推進	記念図書館 ・ 多賀図書館	ライフステージ	SDGs
			デジタル化	リカレント教育
<p>■目的 「日立市子ども読書活動推進計画」に基づき、家庭・学校・地域・図書館が連携して、子どもの読書力を高め、確かな学力と豊かな心を持った子どもの育成を図る。</p>				
<p>■内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 幼児から児童を対象としたおはなし会の実施 ○ 子ども読書活動推進アドバイザー※による学校訪問、ボランティア育成研修会の実施 ○ 小学1年生への利用カード作成・登録の推進や、「図書館ポイント大作戦!」、「本を読んでも絵をかこう展」などの行事による図書館利用促進 ○ 発達段階に応じた「図書館がすすめるこどもの本」等のリストの作成及び配布 ○ 小学校・幼稚園・保育園等への図書館職員の出張読み聞かせなどの実施 ○ 学校支援図書、団体配本・貸出、授業用搬送、巡回図書搬送などによる小・中学校等での読書活動推進 ○ 新小学1年生へのランドセル配布に併せ、児童書を贈るセカンドブック事業の実施検討 ○ 文化交流イベント（子ども向けイベント）の実施検討 				
<p>■方向性 図書館の利用促進と、図書の紹介や読み聞かせという二つの方向から、本が身近にある環境をつくり、読書活動の推進を図る。</p>				

取組名		担当課	計画策定の視点	
No.60	地域わんぱく隊の活動支援	女性若者支援課	ライフステージ	SDGs
			デジタル化	リカレント教育
<p>■目的 野外活動や生活体験などを通じて子どもたちの「生きる力」を育むため、コミュニティなどの事業実施団体の支援を行う。</p>				
<p>■内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 野外活動や生活体験などの活動経費の一部補助 ○ ボーイスカウト及びガールスカウトと連携した野外体験事業の支援 				
<p>■方向性 高齢化による運営スタッフの不足や活動拠点の確保が難しい地域もあるが、今後も支援を継続し、子どもたちの「生きる力」の向上を図る。</p>				

取組名		担当課	計画策定の視点	
No.61	プレパパママの子育てスクールの実施	健康づくり推進課	ライフステージ	SDGs
			デジタル化	リカレント教育
<p>■目的 健康教育により、夫婦での育児力を高める正しい知識の普及、育児の不安軽減、児童虐待予防を図る。</p>				
<p>■内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 初妊婦とその夫を対象に、出産・育児の夫婦協力、夫婦間の相互理解を深める学びの提供 ○ 妊娠・出産についての知識や実用的な情報の提供 				
<p>■方向性 参加者ニーズ等の変化により、教育内容の見直し等をしていく必要がある。</p>				

取組名		担当課	計画策定の視点	
No.62	「0歳児の広場」の実施	健康づくり 推進課	ライフステージ	SDGs
			デジタル化	リカレント教育
<p>■目的 0歳児を持つ保護者の育児不安を軽減するとともに、正しい知識の普及による育児力の向上、児童虐待の予防を図る。</p>				
<p>■内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 親子ふれあいの場及び親同士の交流の場の提供 ○ 専門職による各種相談（育児相談、栄養相談、歯科相談）の実施 				
<p>■方向性 参加者の子育てに対する考え方や価値観に寄り添いながら、教育内容や支援を検討する必要がある。</p>				

取組名		担当課	計画策定の視点	
No.63	子どもすくすくセンターの運営	子育て 支援課	ライフステージ	SDGs
			デジタル化	リカレント教育
<p>■目的 子育てに不安や負担感を抱いている保護者の子育てを支援する施設として親子交流の場の提供、子育て相談等を実施し、子育て環境の整備推進を図る。</p>				
<p>■内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 親子交流の場の提供、子育て相談、子育て情報の収集及び発信 				
<p>■方向性 本市は「企業城下町」であり、「仕事」を理由とする転入が多い点から、親族等からの支援を受けることができない子育て世帯が多く存在していると推測できるため、子育ての支援施設として、事業を継続していく必要性が高い。</p>				

取組名		担当課	計画策定の視点	
No.64	地域の子ども・子育て支援の充実	子育て支援課	ライフステージ	SDGs
			デジタル化	リカレント教育
<p>■目的 乳幼児を持つ保護者の育児不安を軽減するため、親子の交流や育児相談の場を提供し、安心して子育てができる環境の整備を図る。</p>				
<p>■内容 ○ 子どもの広場の実施</p>				
<p>■方向性 子育て中の保護者の不安感や孤立感に寄り添った、きめ細やかな相談体制の充実など、子育て環境の更なる整備推進を図る必要がある。 また、利用時の満足度を上げるような取組をより一層進めていく必要がある。</p>				

【関連する取組】

No. 1	職業探検少年団の運営支援	(P27)
No.16	放課後児童対策の推進	(P38)
No.26	豊かな体験活動の実施	(P44)
No.69	地元大学との連携による教育ボランティアの活用	(P73)
No.72	科学学習の推進	(P76)



ふれあい広場

施策の方向性2 地域を豊かにする学びの推進

市民が主体的に地域に向き合い、課題解決等に向けて多様な人々と関わり合いながら行動できる仕組みづくりを推進します。

市民の主体的な取組により、生涯学習のまちづくりを進めることができるよう、専門的知識を持つリーダーを始め、地域や団体活動のリーダー、ボランティアとなる人材の育成など新たな人材の発掘を図ります。

【主な取組】

取組名		担当課	計画策定の視点	
No.65	ラジオ体操の普及	生涯学習課	ライフステージ	SDGs
			デジタル化	リカレント教育
<p>■目的 「郷土の宝」であるラジオ体操の認知度向上及び普及に取り組み、郷土愛を育むとともに、日常生活に取り入れ、市民の生活習慣の改善、健康増進を図る。</p>				
<p>■内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 日立市長杯ラジオ体操コンクールの実施 ○ 日立市一斉ラジオ体操の実施 ○ ラジオ体操スタンプ帳やアプリを活用したラジオ体操の年間取組日数の増加 				
<p>■方向性 ラジオ体操を身近な生活に取り入れることにより、市民の健康寿命の延伸を図る。</p>				

取組名		担当課	計画策定の視点	
No.66	働き世代の休日講座の実施	生涯学習課	ライフステージ	SDGs
			デジタル化	リカレント教育
<p>■目的 働き世代を対象に、各自が抱えている漠然とした不安の解消や将来に向けた備え、スキルアップにつなげるため、今知っておくべき身近な法律や資産管理、デジタル化への対応などについて学ぶ機会を提供する。</p>				
<p>■内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 働き世代を対象に休日講座の実施 				
<p>■方向性 職業人生の長期化、ICT（情報通信技術）やAI（人工知能）の進化など、変化の激しい社会を生きていくためには、働き世代が、社会で求められる能力を身に付けるとともに、人間関係を潤滑にするコミュニケーション力の向上、また、将来に備えた知識の習得が必要となっている。</p>				

取組名		担当課	計画策定の視点	
No.67	外国人児童生徒に対する 学校生活支援	指導課	ライフステージ	SDGs
			デジタル化	リカレント教育
<p>■目的 本市に居住する外国人は年々増加しており、外国人児童生徒が、意思疎通を凶れる程度の日本語の会話力を身に付けることや、学校に慣れるための準備等が必要であることから、通訳ボランティアの配置等の支援を行う。</p>				
<p>■内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 通訳ボランティアの配置 ○ 各種支援団体との連携 				
<p>■方向性 本市に居住する外国人は年々増加しており、学校から保護者への必要な情報の伝達や、緊急時の対応・連絡も課題であり、従来の通訳ボランティアの配置等による支援策に加え、実践的な対応を検討する。</p>				

【関連する取組】

No. 3	日立市子ども会育成連合会の運営支援	(P28)
No.52	総合型地域スポーツクラブ*の育成	(P59)



日立市子ども会育成連合会「野外研修会」

施策の方向性3 学びをいかし、みんながつながる環境の充実

市民一人一人が生涯にわたって学び、その学びを地域でいかに「学びと活動の循環」を形成できるよう、学習活動を通して身に付けた知識、技術、経験等の成果を発表する機会や成果をいかせる場の充実を図ります。

【主な取組】

取組名		担当課	計画策定の視点	
No.68	ひたち生き生き百年塾の活動支援	生涯学習課	ライフステージ	SDGs
			デジタル化	リカレント教育
<p>■目的 市民が主体となって生涯学習に取り組む環境の充実を図るため、「ひたち生き生き百年塾」の活動を支援し、市民の学びの機会や学びの成果を活用する機会を提供する。</p>				
<p>■内容 ○ ひたち生き生き百年塾推進本部の活動支援</p>				
<p>■方向性 ひたち生き生き百年塾の活動は、高齢者や児童を対象としたものが多く、働き世代を対象としたものが少ない。 そのため、働き世代のリカレント教育※に寄与できるよう、対象となる講座等を増やす必要がある。</p>				

【関連する取組】

No.32	市政出前講座の実施	(P47)
No.55	地域学校協働活動*の推進	(P64)
No.56	家庭教育の推進	(P65)
No.71	学習機会提供のための関係団体との連携	(P75)

施策の方向性4 若者が活躍できる機会の充実

若者が、自分らしく生き生きと成長できるよう、自主的な活動を応援します。
また、若者が生涯学習活動を通じて、活躍できる機会の充実を図ります。

【主な取組】

取組名		担当課	計画策定の視点	
No.69	地元大学との連携による 教育ボランティアの活用	指導課	ライフステージ	SDGs
			デジタル化	リカレント教育
<p>■目的 児童生徒等の健全な教育に寄与するため、県内の大学（茨城キリスト教大学、茨城大学、常磐大学）等の学生を小・中・義務教育学校の教育ボランティアとして活用する。それにより、学生の教育ボランティアの経験と見識を高めるなどの効果が見込まれる。</p>				
<p>■内容 ○教育ボランティアが学校で活動するための支援</p>				
<p>■方向性 学生が授業の補助のほか、児童生徒の遊び相手など、各学校の希望に応じて活動することで、多忙な学校現場の支援となる。また、学生の経験と見識を深める機会になるとともに、教員のなり手不足の対策としての効果も期待できるため、継続して実施する。</p>				

取組名		担当課	計画策定の視点	
No.70	若者のチャレンジ応援	女性若者 支援課	ライフステージ	SDGs
			デジタル化	リカレント教育
<p>■目的 ひたち若者ががやきプラン*に基づき、課題解決、まちの魅力づくりなどの各種取組を、若者のアイデアで実践できる環境を維持し、様々なチャレンジを応援する。</p>				
<p>■内容 ○若者活躍応援補助事業 ○若者資格取得支援補助事業 ○高校生応援事業</p>				
<p>■方向性 若者世代を応援する様々な取組や環境づくりが進みつつあり、まちの魅力づくりや課題解決に対する取組に、多くの若者が関わる機会が増え、若者同士のネットワークも構築され、多種多様な交流機会が創出され始めている。 今後は、若者世代への積極的な情報発信などを通じて、より一層の若者チャレンジに対する応援体制を確立する。</p>				

【関連する取組】

No.31	大学との連携の推進	(P47)
No.47	交流センターにおけるフリースペース等の整備	(P56)
No.48	コミュニティ活動におけるデジタル化の推進	(P56)



大学生企画「忍者修行体験」



ひたち若者ががやき会議

施策の方向性5 協働体制の構築

企業、大学、NPO等との連携により、市民の多様なニーズに対応した気軽に学べる機会を提供します。

また、市民主体のボランティア活動や市民活動への支援を行うとともに、ボランティア活動などに参加したくなる仕組みづくりを進めます。

【主な取組】

取組名		担当課	計画策定の視点	
No.71	学習機会提供のための 関係団体との連携	生涯学習課	ライフステージ	SDGs
			デジタル化	リカレント教育
<p>■目的 充実した関係団体学習機会を提供するため、関係団体との連携を推進する。</p>				
<p>■内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 県北生涯学習センターと連携し、専門知識を持つ人材や施設・設備等を活用した講座等の実施 ○ コミュニティ単会との情報交換、連携講座の実施 ○ NPOと連携し、講座の実施検討 				
<p>■方向性 地域、市、県などの役割を明確にしながら、関係団体とのネットワークを構築し、連携体制の更なる強化を図る。</p>				

取組名		担当課	計画策定の視点	
No.72	科学学習の推進	指導課	ライフステージ	SDGs
			デジタル化	リカレント教育
<p>■目的 子どもたちの科学への興味・関心を高めるため、専門性の高い地域人材を活用し、科学学習の内容充実を図り、質の高い学習の場を提供する。</p>				
<p>■内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 理数アカデミー(小学6年生～中学2年生)等の実施 ○ 科学ふしぎ発見教室の実施 				
<p>■方向性 ものづくりのまちである「ひたちらしい」取組として、継続して実施していく。</p>				

【関連する取組】

No.31	大学との連携の推進	(P47)
No.53	部活動の段階的な地域移行	(P59)
No.68	ひたち生き生き百年塾の活動支援	(P72)
No.69	地元大学との連携による教育ボランティアの活用	(P73)

第 5 章

參考資料

1

計画の策定経過

■ 検討状況

- 教育委員会の課長等で構成される検討会議、係長等で構成されるワーキング会議における計画の内容検討（令和4年6月～令和5年1月）
- 日立市の教育に関するアンケート調査（令和4年11月）
- ※ 令和5年3月に日立市教育振興基本計画の改訂方法を見直し、「学校教育」「生涯学習」「スポーツ」の分野ごとに個別の計画として策定する方針を決定。

■ 策定経過

年	月日	策定委員会	市・教育委員会	関係機関・市民等
令和5年	4月19日		教育委員会定例会協議会 ・計画改訂方針の見直しについて	
	5月31日			議会教育福祉委員会協議会 ・計画改訂方針の見直しについて
	6月2日	第1回策定委員会 ・（仮称）日立市生涯学習振興計画の策定について ・現計画の推進状況について ・教育に関するアンケート結果について		
	7月14日	第2回策定委員会 ・生涯学習の考え方について ・生涯学習を取り巻く環境について ・計画の骨子（案）について ・計画の施策の体系（案）について		
	8月31日		教育委員会定例会協議会 ・計画の骨子（案）について ・施策の体系（案）について	
	9月14日			議会教育福祉委員会協議会 ・計画の骨子（案）について ・施策の体系（案）について

年	月日	策定委員会	市・教育委員会	関係機関・市民等
令和5年	10月13日	第3回策定委員会 ・これまでの検討経過について ・計画の推進テーマ（案）について ・計画に登載する主な取組（案）について		
	11月1日	第4回策定委員会 ・計画（素案）について ・計画（素案）の市民への意見聴取について		
	11月22日			意見聴取開始 （～12月3日まで）
	11月22日			議会教育福祉委員会協議会 ・計画（素案）の市民への意見聴取実施について ・計画（素案）について
	11月30日		教育委員会定例会協議会 ・計画（素案）の市民への意見聴取実施について ・計画（素案）について	
	12月20日	第5回策定委員会 ・計画（素案）の市民への意見聴取結果について ・計画（案）について		
令和6年	1月25日		教育委員会定例会協議会 ・計画（素案）の市民への意見聴取結果について	
	2月21日			議会教育福祉委員会協議会 ・計画（素案）の市民への意見聴取結果について ・計画の策定について
	2月28日		教育委員会定例会 ・計画について議決	

※ 策定委員会：日立市生涯学習振興計画策定委員会

2

策定委員会

(1) 日立市生涯学習振興計画策定委員会 委員名簿

No.	氏名	所属団体等	備考
1	岩間 信之	茨城キリスト教大学文学部文化交流学科教授	委員長
2	熊谷 智仁	日立市学校長会評議員（成沢小学校校長）	副委員長
3	志摩 邦雄	茨城県県北生涯学習センターセンター長	
4	澤 俊子	ひたち生き生き百年塾推進本部本部長	
5	西村ミチ江	日立市コミュニティ推進協議会 （埴山学区住みよいまちをつくる会会長）	
6	中川 雅子	日立女性フォーラム会長	
7	目黒 周作	ひたち若者かがやき会議コアメンバー	
8	行田 豊	日立市社会教育委員会議議長	
9	窪木 雅啓	日立市立図書館協議会委員長	
10	皆川悠美子	日立市郷土博物館協議会委員長	
11	直井雄一郎	ひたち生き生き百年塾市民教授	
12	加古由岐子	市民公募委員	
13	佐藤 克洋	市民公募委員	
14	七井 則之	生活環境部長	
15	宮内 雅弘	教育部長	

(2) 日立市生涯学習振興計画策定委員会 設置要項

(目的)

第1条 (仮称)日立市生涯学習振興計画の内容を多角的及び総合的に検討するため、(仮称)日立市生涯学習振興計画策定委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(所掌事項)

第2条 委員会は、次に掲げる事項を所掌する。

- (1) 本市の生涯学習の振興に係る協議に関すること。
- (2) (仮称)日立市生涯学習振興計画の策定に関すること。
- (3) その他委員会が必要と認める事項

(組織)

第3条 委員会は、20人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから教育長が委嘱し、又は任命する。

- (1) 学識経験者
- (2) 各種団体の関係者
- (3) 公募による者
- (4) 市職員
- (5) その他教育長が必要と認める者

(任期)

第4条 委員の任期は、委嘱又は任命の日から令和6年3月31日までとする。

(委員長及び副委員長)

第5条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

2 委員長及び副委員長は、委員の互選とする。

3 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき又は欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 会議は、必要に応じ委員長が招集する。

2 会議は、委員の過半数の出席がなければ開くことができない。

3 会議の議事は、出席者の過半数の同意をもって決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

- 4 委員が会議に出席できないときは、当該委員に代わって、代理の者が出席することができる。
- 5 委員長は、必要に応じ委員以外の者の出席を求め、意見を聞くことができる。

(事務局)

第7条 委員会の事務局は、生涯学習課に置く。

(その他)

第8条 この要項に定めるもののほか、委員会の運営について必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

附 則

- 1 この要項は、令和5年6月2日から適用する。
- 2 第6条第1項の規定にかかわらず、この要項の適用後、最初に開催される会議は、教育長が招集する。

3

目標指標一覧

施策の柱		目標指標案	現状値 (年度)	目標値 (R10)	出典
I	きっかけを見つける	ひたち大好き博士の認定者数 (累計)	237人 (R4)	400人	市独自調査
		ひたち市民カレッジの受講者数	510人 (R4)	1,100人	市独自調査
II	人生100年時代を豊かに生きる	国際交流事業の参加者数	4,138人 (R4)	4,400人	市独自調査
		市民向けの生涯学習講座の参加者数	411人 (R4)	650人	市独自調査
		文化施設の利用者数	348千人 (R4)	560千人	市独自調査
III	支え合い共に生きる社会を創る	ひたち生き生き百年塾推進委員数	86人 (R5)	110人	市独自調査
		地域活動(行事)に参加している人の割合	28.9% (R3)	35.0%	市民ニーズ調査
		地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う児童生徒の割合	小 76.3% 中 62.4% (R5)	82.0% 68.0%	全国学力・学習状況調査
		コミュニティ・スクールや地域学校協働活動※等の取組によって、学校と地域や保護者の相互理解が深まった学校の割合	小 92.0% 中 100.0% (R5)	100.0% 100.0%	全国学力・学習状況調査

4

主な取組一覧

凡例/ラ：ライフステージ S：SDGs デ：デジタル化 リ：リカレント

施策の柱	No.	取組名	課所名	ページ	ラ	S	デ	リ		
I きっかけを見つける	施策の方向性1 学びのきっかけとなる機会の提供									
	1	職業探検少年団の運営支援	生涯学習課	27	○	○	○			
	2	ひたち大好き博士の育成	生涯学習課	27	○		○			
	3	日立市子ども会育成連合会の運営支援	生涯学習課	28	○					
	4	ひたち市民カレッジにおける講座の充実	生涯学習課	28	○		○	○		
	5	中学生の職場体験活動の推進	指導課	29	○			○		
	6	映像文化の振興	記念図書館(視聴覚センター)	29		○	○			
	7	ボランティア情報相談コーナーの運営	コミュニティ推進課	30		○				
	8	女性の就業支援	女性若者支援課	30	○	○	○	○		
	9	離乳食教室の実施	健康づくり推進課	31	○		○			
	10	さくら教室の実施	さくら課	31	○					
	11	かみね動物園における教育普及活動	かみね公園管理事務所	32	○			○		
	関連66	働き世代の休日講座の実施	生涯学習課	70	○		○	○		
	関連68	ひたち生き生き百年塾の活動支援	生涯学習課	72			○	○		
	関連71	学習機会提供のための関係団体との連携	生涯学習課	75	○	○	○	○		
	II 人生100年時代を豊かに生きる	施策の方向性2 学びのきっかけとなる情報の提供・相談体制の強化								
		12	男女共同参画の推進	女性若者支援課	33	○	○	○	○	
13		気象情報活用の充実	環境推進課	34		○	○			
14		マタニティスクールの実施	健康づくり推進課	34	○		○			
15		子育て支援アプリの提供	健康づくり推進課	35	○	○	○			
関連32		市政出前講座の実施	広報戦略課	47	○					
関連68		ひたち生き生き百年塾の活動支援	生涯学習課	72			○	○		
施策の方向性1 共生社会の学びの支援										
16	【拡充】放課後児童対策の推進	生涯学習課	38	○	○					
17	大学・専門学校等への修学支援	教育総務課	39		○		○			
18	多文化共生の推進	文化・国際課	39	○	○					
19	生活困窮世帯の子どもに対する学習支援	生活支援課	40		○					
20	認知症サポーターの養成	高齢福祉課	40	○	○					
21	高齢者のデジタル端末活用支援	高齢福祉課	41	○		○				
22	高齢者の資格取得支援	高齢福祉課	41	○						
23	障害者理解の啓発と社会参加の促進	障害福祉課	42		○					
24	子ども家庭支援の推進	子育て支援課	42		○					
25	乳幼児一時預かりの実施	子ども施設課	43		○					
関連8	女性の就業支援	女性若者支援課	30	○	○	○	○			
関連12	男女共同参画の推進	女性若者支援課	33	○	○	○	○			
関連67	外国人児童生徒に対する学校生活支援	指導課	71	○	○		○			

施策の柱	No.	取組名	課所名	ページ	ラ	S	デ	リ
施策の方向性2 現代的・社会的課題や市民ニーズに応じた学びの支援								
	26	豊かな体験活動の実施	生涯学習課	44	○			
	27	郷土教育の推進	指導課	45	○		○	
	28	エネルギー教育の充実	指導課	45		○		
	29	総合的な学習の時間の実践支援	指導課	46		○		○
	30	いのちの教育の実施	指導課・健康づくり推進課	46	○	○		
	31	大学との連携の推進	政策企画課	47	○			
	32	市政出前講座の実施	広報戦略課	47	○			
	33	交通安全の指導・啓発	交通防犯課	48	○			
	34	ライフステージに応じた消費者教育の推進	女性若者支援課	48	○	○		
	35	環境意識の醸成・向上	環境推進課	49		○		
	36	シルバーリハビリ体操の普及啓発	健康づくり推進課	49	○			
	37	健康運動教室の実施	健康づくり推進課	50	○			
	38	未成年者の喫煙対策	健康づくり推進課	50	○			
	39	食生活改善の推進	健康づくり推進課	51	○			
	40	高校生に対する思春期教育の実施	健康づくり推進課	51	○			
	41	応急救護知識の普及啓発	警防課	52				
	関連13	気象情報活用の充実	環境推進課	34			○	
施策の方向性3 学びの環境の整備								
	42	【拡充】電子書籍貸出サービス活用による読書活動の推進	記念図書館	53		○	○	
	43	移動図書館車の運行	記念図書館	54	○	○		
	44	図書館サービスの充実	記念図書館	54	○	○	○	○
	45	博物館の魅力づくり	郷土博物館	55			○	○
	46	文化財の活用推進	郷土博物館	55			○	○
	47	交流センターにおけるフリースペース等の整備	コミュニティ推進課	56			○	
	48	コミュニティ活動におけるデジタル化の推進	コミュニティ推進課	56			○	
	関連6	映像文化の振興	記念図書館(視聴覚センター)	29		○	○	
	関連68	ひたち生き生き百年塾の活動支援	生涯学習課	72			○	○
	関連70	若者のチャレンジ応援	女性若者支援課	73	○			
施策の方向性4 生涯にわたるスポーツ・文化芸術の推進								
	49	プレゴールデンエイジの育成	スポーツ振興課	57	○			
	50	参加型のスポーツ・レクリエーション事業の推進	スポーツ振興課	58	○	○		
	51	スポーツ少年団の運営支援	スポーツ振興課	58	○			

III 支え合い共に生きる社会を創る

施策の柱	No.	取組名	課所名	ページ	ラ	S	デ	リ
	52	総合型地域スポーツクラブの育成	スポーツ振興課	59		○		
	53	【拡充】部活動の段階的な地域移行	指導課	59	○	○		○
	54	文化・芸術を通じた交流・にぎわいづくり	文化・国際課	60	○	○		
	関連65	ラジオ体操の普及	生涯学習課	70			○	
施策の方向性1 子どもの「育ち」を支える学校・家庭・地域の連携・協働								
	55	地域学校協働活動の推進	生涯学習課	64	○			
	56	家庭教育の推進	生涯学習課	65		○		
	57	学校運営協議会制度の推進	指導課	65	○			○
	58	乳幼児から本に親しむ機会の提供	記念図書館	66	○			
	59	子ども読書活動の推進	記念図書館	66	○			
	60	地域わんぱく隊の活動支援	女性若者支援課	67	○			
	61	プレパパママの子育てスクールの実施	健康づくり推進課	67	○			
	62	「0歳児の広場」の実施	健康づくり推進課	68	○			
	63	子どもすくすくセンターの運営	子育て支援課	68	○			
	64	地域の子ども・子育て支援の充実	子育て支援課	69	○			
	関連1	職業探検少年団の運営支援	生涯学習課	27	○	○	○	
	関連16	放課後児童対策の推進	生涯学習課	38	○	○		
	関連26	豊かな体験活動の実施	生涯学習課	44	○			
	関連69	地元大学との連携による教育ボランティアの活用	指導課	73	○	○		○
	関連72	科学学習の推進	指導課	76	○	○	○	○
施策の方向性2 地域を豊かにする学びの推進								
	65	ラジオ体操の普及	生涯学習課	70			○	
	66	【新規】働き世代の休日講座の実施	生涯学習課	70	○		○	○
	67	外国人児童生徒に対する学校生活支援	指導課	71	○	○		○
	関連3	日立市子ども会育成連合会の運営支援	生涯学習課	28	○			
	関連52	総合型地域スポーツクラブの育成	スポーツ振興課	59		○		
施策の方向性3 学びをいかし、みんながつながる環境の充実								
	68	ひたち生き生き百年塾の活動支援	生涯学習課	72			○	○
	関連32	市政出前講座の実施	広報戦略課	47	○			
	関連55	地域学校協働活動の推進	生涯学習課	64	○	○		
	関連56	家庭教育の推進	生涯学習課	65		○		
	関連71	学習機会提供のための関係団体との連携	生涯学習課	75	○	○	○	○
施策の方向性4 若者が活躍できる機会の充実								
	69	地元大学との連携による教育ボランティアの活用	指導課	73	○			○
	70	若者のチャレンジ応援	女性若者支援課	73	○			
	関連31	大学との連携の推進	政策企画課	47	○			
	関連47	交流センターにおけるフリースペース等の整備	コミュニティ推進課	56			○	
	関連48	コミュニティ活動におけるデジタル化の推進	コミュニティ推進課	56			○	

施策の柱	No.	取組名	課所名	ページ	ラ	S	デ	リ
	施策の方向性 5 協働体制の構築							
	71	学習機会提供のための関係団体との連携	生涯学習課	75	○	○	○	○
	72	科学学習の推進	指導課	76	○	○	○	○
	関連31	大学との連携の推進	政策企画課	47	○			
	関連53	部活動の段階的な地域移行	指導課	59	○	○		○
	関連68	ひたち生き生き百年塾の活動支援	生涯学習課	72			○	○
	関連69	地元大学との連携による教育ボランティアの活用	指導課	73	○	○		○

■ 実施概要

- 募集期間
令和5年11月20日（月）～12月3日（日）
- 閲覧方法
 - ・ 市ホームページに掲載（本編・概要版）
 - ・ 市施設等に配架（本編・概要版）
本庁舎、教育プラザ、各支所及び日立駅前出張所、各図書館、各交流センター
- 提出方法
Webフォーム、Eメール、郵送、FAX、意見回収ボックスに投函
- 周知方法
市報、市ホームページ、X（旧ツイッター）、フェイスブック

■ 実施結果

- 意見提出状況

種別	Webフォーム	意見回収ボックス	Eメール	合計
件数	2	8	5	15

- 意見反映状況

区分	件数
意見反映（計画に意見を反映するもの）	2
趣旨含む（計画案に意見が既に反映されているもの）	5
取組等の参考とするもの	8
その他（計画に関連しない意見・要望等）	0
合計	15

6

用語解説

用語	解説
アルファベット	
SDGs	持続可能な世界を実現するための17のゴール、169のターゲット、232の指標で構成されている目標のこと。2015年の国連サミットで採択され、2016年から2030年までの国際目標となっている。持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）
あ行	
ウェルビーイング	身体的・精神的・社会的に良好な状態。特に、社会福祉が充実し、満足できる生活状態にあること。
か行	
学生プロジェクト	学生プロジェクトは、本市と地元大学との連携事業の一環として、大学の学生たちが、まちづくりなどをテーマに調査・研究に取り組み、その成果を発表するもの。
学校運営協議会	学校と保護者や地域が共に知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める仕組みのこと。
子ども読書活動推進アドバイザー	子ども読書活動の推進のため、市内の学校等を訪問し、取組状況の把握や助言・指導を行う。また、子ども読書活動推進研修会における取組等の紹介や情報提供により、学校図書館の機能の充実や読書活動の推進を図る者のこと。
さ行	
ジェンダー平等	生物学的性別がある一方で、社会通年や慣習の中には、男性と女性の役割の違いによって社会的・文化的に作り上げられた性（ジェンダー）がある。このような性別にかかわらず、一人一人が平等に責任、権利や機会を分かち合い、あらゆる物事を一緒に決めていくこと。
シルバーリハビリ体操指導士	地域において介護予防のための、シルバーリハビリ体操を普及させるボランティア活動実践者であり、指導者のこと。
総合型地域スポーツクラブ	市民が、身近な地域でスポーツに親しむことができる新しいタイプのスポーツクラブで、子どもから高齢者まで、様々なスポーツに参加できる特徴を持ち、市民により自主的・主体的に運営されるスポーツクラブ。
た行	
地域学校協働活動	学校運営協議会において、学校運営や学校運営に必要な支援に関する協議を行ったことを踏まえ、実施する活動のこと。幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指す。

用語	解説
地域学校協働活動推進員 (コーディネーター)	地域と学校が連携・協働するために、地域と学校を繋ぐ役割を担うボランティア。
地域共生社会	制度・分野ごとの『縦割り』や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えてつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会のこと。
長者山遺跡	「長者山官衙遺跡及び常陸国海道跡」2018(平成30)年10月15日に本市で初めて国史跡として指定された史跡のこと。十王町伊師に所在する。
デジタルトランスフォーメーション(DX)	進化したIT技術の浸透が、人々の生活をあらゆる面でより良い報告に変化させるという考えのこと。
デジタルリテラシー	デジタル技術に関して十分な理解を持ち、コンピュータ等で扱える情報について適切に理解し、自ら活用できる力のこと。
遠山喜一郎	日立市出身、ラジオ体操の考案者の一人。元体操選手で、1936(昭和11)年ベルリンオリンピックに出場。
な行	
ネットリテラシー	インターネット・リテラシーを短縮した言葉で、インターネットの情報や事象を正しく理解し、それを適切に判断、運用できる能力のこと。
は行	
ひたちこどもエコクラブ	小・中学生を対象に環境教育や環境学習の推進を図るため2020(令和2)年に創設された環境少年団のこと。
日立市文化財保存活用 地域計画	文化財の保護とその活用による地域活性化を達成するため、「本市が取り組む目標や取組の具体的な内容を記載した、文化財の保存・活用に関する基本的なアクションプラン。2021(令和3)年12月17日に文化庁から計画の認定を受けた。
ひたち若者かがやきプラン	「若者応援」という重要なテーマを具現化するため、本市の未来を見据えた新たなチャレンジとしての方向を示す計画。2021(令和3)年3月策定。 本市を舞台に、かがやきながら成長し、心豊かに暮らしていける環境づくりの実現に向け、本市が若者と協働で取り組むことを示したもので、若者世代が生きがいを持ってかがやき、住んでみたいと思えるまちの魅力を、若者世代の参画により創り出し実践できる仕組みや、支援する体制づくりを目指している。

用語	解説
放課後児童クラブ、 放課後子ども教室	<p>「放課後児童クラブ」は、共働き家庭の児童を対象として、放課後等に適切な遊びや生活の場を提供するもの。</p> <p>「放課後子ども教室」は、全ての子どもを対象として、安全・安心な子どもの居場所を設け、地域の方々の参画を得て、学習やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取組を推進するもの。本市では、2022（令和4）年から、放課後児童クラブ、放課後子ども教室の一体的な運営を行っている。</p>
や行	
ユネスコ無形文化遺産	民俗文化財などの無形文化財を対象とした事業のこと。「世界遺産」と並ぶユネスコ（国連教育科学文化機関）の事業の一つ。
ら行	
リカレント教育	義務教育や大学で学んだ後も、個人が各々に必要なタイミングで学校などの教育機関に戻り、学び直すこと。
レファレンスサービス	図書館利用者が必要な情報・資料などを求めた際に、図書館員が情報そのもの、あるいは、情報を得るために必要な資料を案内するサービスのこと。
ロールモデル	何かをしようとした時に、具体的な行動や考えを学習・模倣する対象となる人物のこと。

